

家庭決算書マニュアル

目 次

1. インストール
2. 家庭決算書の作成手順
3. 科目の設定について
4. 初期設定
5. 入力処理
 - 現金
 - 電子マネー
 - カードポイント
 - 普通預金
 - クレジットカード
 - 振替帳
6. 家庭決算書
 - 月次の財産対照表
 - 月次の消費損益計算書
7. 分析
 - 科目月別残高
 - 予算実績対照表
8. 決算（年の終わりに）
 - 時価評価
 - 本年度の家庭決算書
 - 留保財産
 - 来年度の財産対照表
9. 消費科目の追加・変更
10. Q&A

1. インストール

家庭用会計ソフト「家庭決算書」は、自動的にインストールが開始されます。
指示に従って、「次へ」をクリックしてください。

そして、最後に、ライセンスキーを入力し、「登録」をクリックしてください。

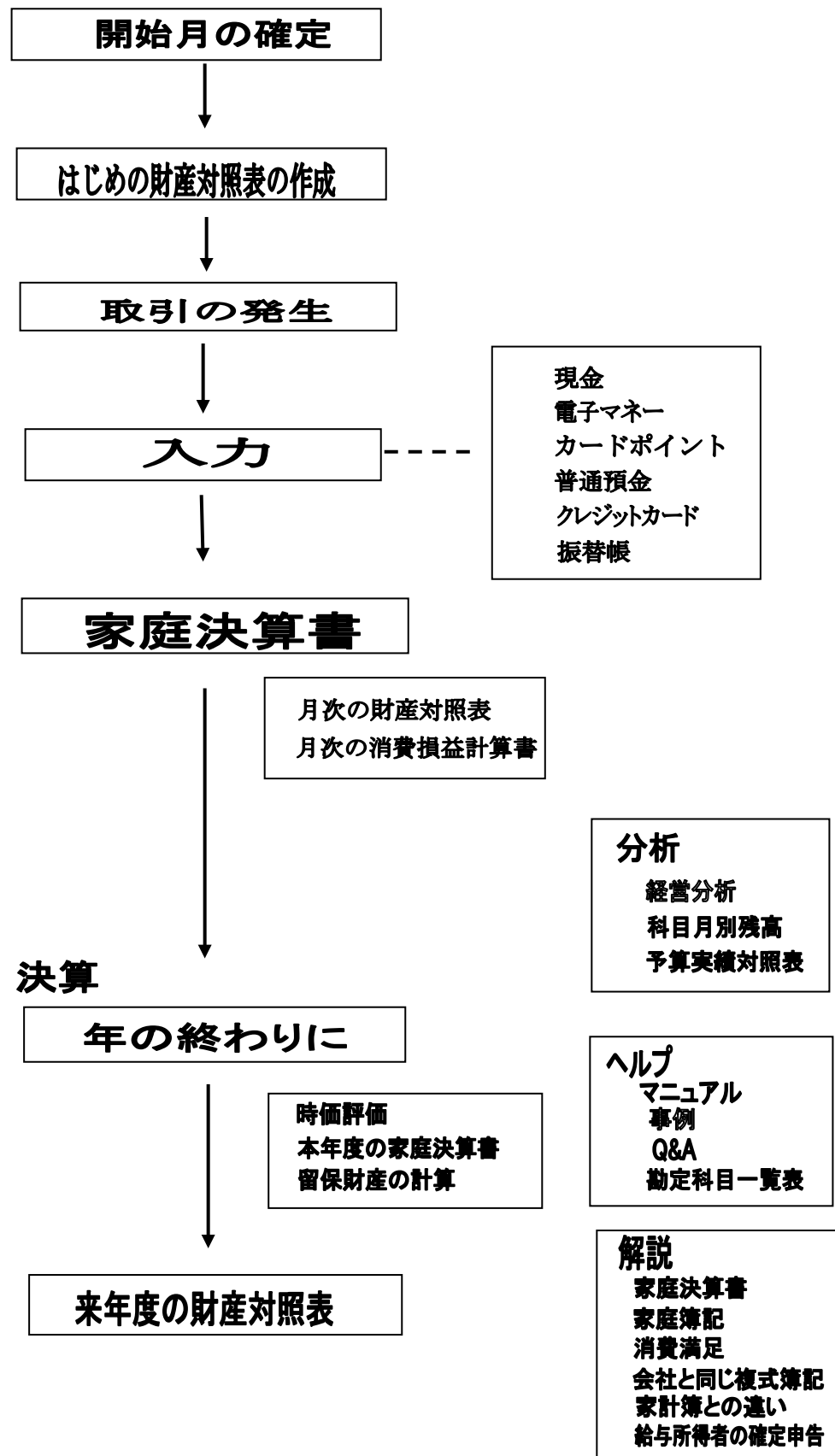
＊ ライセンスキーは、ダウンロード版を（株）ベクター社でソフトを購入されますと、通知されます。

（パソコンの必要動作環境）

<動作環境>

プロセッサ	最小：600 メガヘルツ（MHz）の Pentium プロセッサ、または AMD Opteron、AMD Athlon64、AMD Athlon XP プロセッサ 推奨：800 MHz の Pentium プロセッサ、または AMD Opteron、AMD Athlon64、AMD Athlon XP プロセッサ
対応 OS	Windows XP Windows 7 Windows 8 Windows 10
必要ソフトウェア	.NET Framework 2.0 再頒布可能ファイル（.NET Framework 再頒布可能パッケージ および .NET Framework 日本語 Language Pack） Microsoft Internet Explorer 5.01 Microsoft Data Access Components（MDAC）2.8 Windows Installer 3.0 Adobe Reader 6.0 以降（マニュアル参照時）
RAM	最低 256MB、512MB 以上推奨
ハードディスク空き容量	300 MB（.NET Framework 再頒布可能パッケージ用の容量を含む）
ディスプレイ	1,024 × 768 以上の解像度

2. 家庭決算書の作成手順



3. 「科目の設定」について

科目というのは、計算を行うひとつの単位として、その内容を分かりやすく、簡潔に表現するために設けられたものです。科目の設定は、本来、自由に行うことができますが、家庭決算書では、一般的に使われている科目と、必要と思われる科目を初期設定してあります。また、一部の科目では、自由に科目を追加設定することも可能にしています。この際注意すべき点は、自分たちが分かりやすい名称をつけ、一度決めた科目の名称はできるだけ変えないようにすることです。これは将来、科目ごとに比較したり、推移を見たり、分析する上で役に立つことになるからです。

家庭決算書の財産対照表と消費損益計算書の科目と内容は、次のとおりに設定されています。

財産対照表勘定科目一覧表

科 目	内 容	評 価 額
資 産		
現 金	紙幣・硬貨などの通貨（国内・外国）を記録するために用いる科目で、小切手、トラベラーズチェックなどの通貨代用証券も含まれます。	手持ち現金、家族全員が所持している現金の総額
電子マネー	PayPay、d払い、auPayなどのQRコード型、パスモ、スイカ、エディ、WAON、nanacoなどICカード型の電子マネーを記録するための科目	電子マネーの残高の合計金額
カードポイント	商品・サービスの購入時等に付与されるポイントやボーナスを記録するための科目	カードポイントの残高の合計額 (1ポイントが1円になるように換算して記入します)
普通預金	銀行、郵便局、信用金庫など金融機関の預貯金を記録するための科目	普通預金の残高の合計金額 残高がマイナスの場合も、マイナスのまま合計

定期性預金	銀行、郵便局、信用金庫など金融機関の定期預金など、定期性の預貯金を記録するための科目	定期性預金の残高の合計金額
その他預金	外貨預金、当座預金、通知預金、金銭信託、社内預金などを記録するための科目	その他預金の残高の合計金額 外貨預金の残高は現在の為替レートで円換算した時価を記入します
土地	自己所有の土地の時価評価額を記録するための科目	新聞や広告など最新情報をもとにできるだけ実勢価格に近い時価評価額
建物	自己所有の建物と建物附属設備の時価評価額を記録するための科目	新聞や広告など最新情報をもとにできるだけ実勢価格に近い時価評価額
マンション	自己所有のマンションの時価評価額を記録するための科目	新聞や広告など最新情報をもとにできるだけ実勢価格に近い時価評価額
株 式	自己保有の株式の評価額の合計金額を記録するための科目	新聞や PC など最新情報をもとにできるだけ実勢価格に近い時価評価額
公社債	自己保有の国債や社債などの評価額の合計金額を記録するための科目	新聞や PC など最新情報をもとにできるだけ実勢価格に近い時価評価額
投資信託他	自己保有の投資信託や ETF などの評価額の合計金額を記録するための科目	証券会社などの報告書による評価金額
保険積立金	保険の解約返戻金を記録するための科目	保険の解約返戻金残高の合計金額
車 両	家族所有する自家用の車、自動二輪の時価評価額を記録するための科目	車両の時価評価額(下取り価格の概算)の合計金額
売却可能な高額品	金地金、ピアノ、家具、宝飾品、書画骨董、ブランド品、コレクターズアイテムなどで売却可能な高額品を記録するための科目	売却可能な高額品の時価評価額(又は購入金額)の合計金額
その他資産	保証金、借地権、他人に対する貸付金、立替金などを記録するための科目	保証金、他人に対する貸付金などの合計金額

負 債		
住宅ローン	住宅の購入・増改築に伴う代金の銀行・住宅金融支援機構などから借り入れた住宅ローンの元金残高を記録するための科目	住宅ローンの元金残高の合計金額
その他 借入金	住宅ローン以外の金融機関からの借入金（教育ローン、自動車ローン、カードローンなど）の元金残高を記録するための科目	住宅ローン以外の金融機関からの借入の元金残高の合計金額
カード未 払金	クレジットカード、電子マネーの後払い形式による購入代金の未払い分（未決済分）残高を記録するための科目	クレジットカードの未払い（未決済）残高の合計金額
未払金	クレジットカードを利用しない消費や資産購入で、支払いの済んでいない代金の合計金額を記録するための科目	未払金残高の合計金額
その他負債	一時的に現金などを受け入れた預り金、科目が決まらない仮受金などの金額を記録するための科目	その他負債（預り金や仮受金）残高の合計金額
正味財産		
家族財産	相続や贈与により家族（父母、兄弟姉妹祖父母ほか）から譲り受けた財産、および結婚によって得た財産（持参金等の合計金額を記録するための科目	相続や贈与、結婚によって得た財産の合計金額
留保財産	給与収入、資産の運用などによって、今までに蓄積された財産の金額を記録するための科目	今までに自力で築き上げてきた財産の合計金額
当期消費 損益	当年度の消費生活の結果としての損益（財産の増減）を示す金額を記録するための科目	当年度に自力で築き上げた財産の合計金額

消費損益計算書勘定科目一覧表

勘定科目	内 容
収 入	
給 料	主な収入の担い手が毎月受け取る給料（残業手当、家族手当、通勤手当なども含む総支給額）を記録するための科目
賞 与	主な収入の担い手が臨時に受け取る賞与（諸手当も含む総支給額）を記録するための科目
家族収入	主な収入の担い手以外の家族の人がパート・アルバイトなどで得た収入を記録するための科目
年金・その他	年金、副業、講演料、原稿料など臨時収入の金額を記録するための科目
消 費	
税金等	
（所得税）	所得に係わる国税の金額を記録するための科目
（住民税）	所得に係わる地方税の金額を記録するための科目
（社会保険料）	健康保険料、介護保険料、厚生年金保険料、雇用保険料などの金額を記録するための科目
（その他税金）	固定資産税、都市計画税などの金額を記録するための科目
日常生活費	
（食糧費）	家で取る食事のための主・副材料費などの金額を記録するための科目
（通信費）	電話代、携帯電話やパソコンの通信費、切手、はがき代、TV受信料、宅配便送料などの金額を記録するための科目
（交通費）	交通費、通勤・通学費、ガソリン代などの金額を記録するための科目
（水道光熱費）	電気、ガス、水道料などの金額を記録するための科目
（新聞図書費）	新聞、雑誌、書籍代などの金額を記録するための科目
（消耗品費）	家事・台所用品、園芸用品、一般雑貨などの金額を記録するための科目
（家賃・礼金）	賃貸住宅の家賃や礼金などの金額を記録するための科目

その他生活費	
(外食費)	家庭外で取る食事代金などの金額を記録するための科目
(交際費)	慶弔贈答品、手土産、来客接待費などの金額を記録するための科目
(医療費)	医療に関わる諸費用、薬品代などの金額を記録するための科目
(旅行費)	家族旅行、娯楽・行楽・レジャー代などの金額を記録するための科目
(教育費)	学費、PTA・給食費、学習塾・お稽古代、文具代、教科書・参考書代などの金額を記録するための科目
(衣料費)	和洋服などの衣料費、靴、アクセサリー、クリーニング代などの金額を記録するための科目
特別収入	
受取利息・受取配当金	預貯金の利息、株式などの配当金の金額を記録するための科目
受贈給付金	祝い金、報奨金、保険などの給付金の金額を記録するための科目
資産評価益	不動産・有価証券などの評価益の金額を記録するための科目
有価証券売却益	有価証券の売却益の金額を記録するための科目
カードポイント収入	クレジットカードや電子マネーで付与されるポイントやボーナスを記録するための科目
その他特別収入	不動産、車、売却可能な高額品など金融資産以外の資産売却益、およびフリーマーケット、古本屋などへの物品売却金額を記録するための科目
特別消費	
住宅ローン支払利息	住宅ローン返済時の支払利息の金額を記録するための科目
その他支払利息	住宅ローン以外の金融機関からの借入金の支払利息の金額を記録するための科目
資産評価損	不動産、有価証券、車などの評価損の金額を記録するための科目
有価証券売却損	有価証券の売却損の金額を記録するための科目

カードポイント 損失	クレジットカードや電子マネーのポイントが、期限切れ等で失効した場合の損失金額を記録するための科目
その他特別消費	不動産、車、売却可能な高額品など金融資産以外の資産売却益損の金額を記録するための科目

（参 考）追加しておく便利な科目

修繕費	修繕費、設備維持費など
家具・家事用品費	家電品、寝具、インテリアなどの代金
保険料	生命保険、損害保険の保険料
金融手数料	口座振替、振込手数料、クレジットカードの会費など
雑費	科目分けのしづらい少額の費用
小遣い	家庭決算書に用途を記録しない小遣い
その他費	その他生活費で科目分けのしづらい費用

よく利用するお店の名を科目名に使う

・・・スーパー費	・・・スーパーで使った代金を一括して計上
***コンビニ費	***コンビニで使った代金を一括して計上
レストラン XX 費	レストラン XX で使った代金を一括して計上
***ゴルフ費	***ゴルフ店で使った代金を一括して計上
XXX 楽器費	XXX 楽器店で使った代金を一括して計上
レシートの総額を入力して、例えば食費と消耗品費に分類する手間を省く	

趣味やショッピングに使ったものを細かく別科目にする

ファッション費	外出用衣料や贅沢衣料
美容費	美容院代・エステ代
化粧品費	化粧品
靴・バッグ費	靴やハンドバッグ
旅行・レジャー費	レジャー・娯楽費用
アクセサリー・小物費	アクセサリー・革小物・腕時計

クリーニング費	クリーニング代
日常衣料費	下着、ストッキングなど
酒・タバコ費	酒・タバコ代を食費と別管理
会食・喫茶費	外食代、喫茶代
昼食・惣菜費	テイクアウトの弁当や惣菜費を食費と別管理

4. 初期設定

スタート時点の初期設定は、

1 開始月の確定

2 初期・財産対照表の作成 の2つだけです。

1. 開始月の確定（上部の **開始月へ** ボタンをクリックして下さい）

開始月の選択で、開始月を確定します。

開始月は原則として1月からになりますが、その他の月からでも開始できます。

ただし、1月以外の月を選択した場合は、選択した月より前の月のデータ入力は出来なくなりますのでご注意ください。

また、入力は、今年度分だけとなります。他の年度分は入力できません。

2. 「初期・財産対照表」の作成

開始月の選択を終えたら、「初期設定」画面の「現金」から始まる各科目に、あなたが所有している財産（資産、負債、家族財産）を入力して、「初期・財産対照表」を作成します。

全ての科目はあとから追加、訂正、削除が可能ですので、手元に正確な金額がわかる資料がない場合は入力を飛ばしたり、概算を入力してあとから修正を加えたりすることができます。

最初の科目の「現金」を入力して、「初期・財産対照表」を表示する方法を解説します。

①「初期設定」画面の「現金」というタブを、クリックしてください。

②手持ち現金の入力画面が開きますので、今、確認できる「現金」の金額を入力してください。

③「現金」の入力が終わったら、「完了」ボタンをクリックします。

④「初期設定入力を終え、はじめの財産対照表を表示します。よろしいですか？」と表示されますので、「はい」をクリックします。

- ⑤「初期設定 財産対照表」が表示されるので、資産の部にある「現金」という科目に、入力した現金の金額が正しく表示されているか確認してください。
- ⑥現金の金額の確認を終えたら、「ようこそ」の「開始月へ」ボタンまたは左カラムの「初期設定」ボタン（または「初期・財産対照表」の表内科目ボタン）から、「初期設定」画面に戻り、「電子マネー」「カードポイント」「普通預金」…と、各科目のタブをクリックして画面を切り替え、最後の科目まで入力を行っていきます。
- ⑦入力の途中段階であっても、入力画面下の「完了」ボタンをクリックすると、そこまでに入力した内容がデータ保存され、「初期・財産対照表」が再集計されて表示されます。
- （注）入力画面の右肩の「×（閉じる）」ボタンは画面表示を閉じるときにのみ使用します。「×（閉じる）」ボタンをクリックしても、それまでに入力した内容は保存されませんのでご注意ください。
- ⑧最後の科目の「正味財産」入力画面に表示される「**留保財産**」は、あなたが、今まで働いて、自力で築き上げた財産の金額を表しています。

継続使用されている方について

継続使用されている方は、前年度版の「年の終わりに」で作成した「来年度の財産対照表」の各科目の金額を、「初期設定・財産対照表」の各科目ごとに入力してください。

家庭財産の開始残高入力

現金

手持ち現金の入力

家族全員が所持している現金の総額を入力してください。

分からない場合には概算金額を入力し、後で修正してください。

電子マネー

電子マネー残高の入力

電子マネーの会社名と残高を入力してください。

電子マネーは最大99社まで設定できます。

電子マネーが100社以上ある場合は、その他電子マネーなどとして、残高合計を入力してください。

カードポイント

カードポイント残高の入力

クレジットカードや電子マネーなどを利用した時に付与されるポイントやボーナスの残高を会社別に入力してください。

カードポイントは最大99社まで設定できます。

カードポイントが100社以上ある場合は、その他カードポイントなどとして、残高合計を入力してください。

普通預金

普通預金・郵便貯金残高の入力

普通預金（貯金）口座を開いている銀行名と残高を入力してください。

郵便局利用の場合は銀行名の欄に郵便局と入力してください。

普通預金口座は最大99口座まで設定できます。

普通預金口座が100口座以上ある場合は、銀行名をその他銀行などとして、残高合計を入力してください。

残高がマイナスの場合も、マイナスのまま入力してください。

定期性預金

定期性預金残高の入力

定期性預金の残高を記入してください。

定期性預金口座は最大99口座まで設定できます。

定期性預金口座が100口座以上ある場合は、銀行名をその他銀行などとして、残高合計を入力してください。

その他預金

その他預金残高の入力

外貨預金などその他の預金がある場合に入力します。

外貨預金の残高は現在の為替レートで円換算して時価で入力します。

その他預金の口座は最大99口座まで設定できます。

その他預金口座が100口座以上ある場合は、銀行名をその他銀行などとして、残高合計を入力してください。

不動産

土地・建物・マンションの時価評価額の入力

土地・建物・マンションのいずれかを所有している場合、「土地・建物・マンション追加」ボタンを押下して、補助科目の土地・建物・マンションを追加してください。

最新情報をもとに、できるだけ実勢価格に近い土地・建物・マンションの時価評価額を入力してください。時価評価額がわからない場合は、購入価格（取得価格）を入力してください。

不動産は最大 99 項目まで設定できます。

有価証券

株式、公社債、投資信託の時価評価額の入力

株式、公社債、投資信託など自己保有の有価証券の時価評価額を入力してください。

有価証券は最大 99 項目まで設定できます。

保険積立金

保険積立金（解約返戻金）の入力

掛け捨てタイプではない保険の解約返戻金額を入力してください。

保険積立金は最大 99 項目まで設定できます。

車 両

車両の時価評価額の入力

家族が所有する自家用のクルマ、オートバイ等の時価評価額（下取り価格の概算）を入力してください。

車両は最大 99 項目まで設定できます。

高額品

売却可能な高額品の時価評価額の入力

売却可能な高額品とは、骨董品、美術品、宝飾品、ピアノ、ブランド品、コレクターズアイテムなどを指します。

売却可能な高額品の時価評価額（売却金額の概算）を入力してください。

売却可能な高額品は最大 99 項目まで設定できます。

その他資産

その他資産残高の入力

敷金、保証金、他人に対する貸付金などがある場合、その残高を入力してください。

その他資産は最大 99 項目まで設定できます。

負債

負債(マイナスの財産)の金額の入力

住宅ローン

住宅ローン残高の入力

住宅ローン残高を入力してください。

住宅ローンは最大 99 項目まで設定できます。

備考欄は借入条件の備忘記録としてお使いください。

その他借入金

その他借入金残高の入力

住宅ローン以外の金融機関からの借入金（教育ローン、自動車ローン、カードローン、消費者金融ローンなど）の残高を入力してください。

その他借入金は 99 項目まで設定できます。

借入先が 100 社以上ある場合は、金融機関名をその他金融機関などとして、残高合計を入力してください。

備考欄は借入条件の備忘録としてお使いください。

カード未払金

クレジットカード・後払い式電子マネーの未払金の入力

クレジットカードや後払い式電子マネーの未払金（銀行決済が済んでいない利用残高）を入力してください。

クレジットカード・後払い式電子マネーは 99 社まで設定できます。

クレジットカード・後払い式電子マネーが 100 社以上ある場合は、会社名をその他カード会社などとして、未払金の合計残高を入力してください。

未払金

未払金・その他負債残高の入力

クレジットカードを利用しない消費や資産購入で支払いの済んでいない代金（未払金）や現金や銀行振り込みで一時的に預かっている預り金（その他負債）の残

高を入力してください。

正味財産

正味財産(本当の財産)の確定

いままで入力した資産（プラスの財産）と負債（マイナスの財産）によって正味財産は自動計算されます。

正味財産とは資産の合計から負債の合計を引いた金額です。

家族財産

家族財産残高の入力

家族財産とは、正味財産のうち相続や生前贈与によってもたらされた財産、結婚したとき配偶者がもともと持っていた財産・持参金など、家族から譲り受けた財産金額を指します。

初期設定はこれで完了です。

「完了」キーを押すと「初期設定 財産対照表」が作成されます。

「初期設定 財産対照表&消費損益計算書」に表示されている「消費損益計算書」をクリックすると、消費損益計算書のポイントが解説されています。

(注意)

入力後に、「初期 財産対照表」に入力した科目や金額を変更する場合

- 1、左カラムの「設定の変更」の「ようこそ」、「初期設定」または「初期・財産対照表」をクリックします。
- 2、修正の必要な科目の画面を選択して、追加、訂正など正しい情報を入力してください。
- 3、入力後、「完了」キーをクリックすると、「初期 財産対照表」の画面が表示されますので、修正箇所が正しく入力されたか、確認してください。
- 4、正しく入力されたことを確認できたら、「閉じる」をクリックして終了してください。
- 5、さらに修正を加える場合は、上記の入力処理を続けてください。

ただし、一度入力して「完了」をクリックした科目は、名称の変更は出来ませんが、項目の削除はできません。金額をゼロにすることで対応してください。

5. 入力処理

(1) 現金

現金の入出金があった場合は、ここで入力します。

①日 付	②入出金	③内 容	④相手科目	⑤金 額
			⑥登 録	⑦クリア

①日 付：日付のプルダウンメニューをクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダーから入出金のあった日を選択すると、日付が入力されます。

②入出金：その金額が現金に入ってきたもの(現金を増加させた)か、出ていったもの(現金を減少させた)かによって、「入金(増)」／「出金(減)」のいずれかを選択します。

(注)

電子マネーへの現金の「入金」および普通預金口座への現金の「入金」と「出金」は、入力処理の「電子マネー」および「普通預金」から処理します。「現金」から処理を行うことはできません。

③内 容：購入品の内容を記録する摘要欄です。商品名、店名などを直接入力します。

この摘要欄は空白のままでも構いません。

④相手科目：科目のプルダウンメニューをクリックすると科目一覧が表示されます。

該当科目をクリックすると科目が入力されます。

科目の入力を間違えたときは、正しい科目を選び直してクリックすると、正しい科目が入ります。

⑤金 額：消費税込みの金額を直接入力します。

※消費税と本体価格を分けて管理することもできます。消費税と本体価格を分け

て管理する時は、本体価格を当該科目に、消費税を「税金等－その他税金」科目に入力します。

⑥登録：入力が済むと、『登録』ボタンがクリックできる 状態になり、『登録』ボタンをクリックすると、下の一覧表に入力内容が追加表示されます。

⑦クリア：入力間違いをした場合、行全部を消去する場合に使用します。

(1) 例えば、スーパーで野菜などを購入し 550 円現金で支払った場合には、次のように入力します。

また、相手科目が分からない場合には、科目一覧を参照してください。

家庭決算書2022

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

- 現金
- 電子マネー
- カードポイント
- 普通預金
- クレジットカード
- 振替帳
- 家庭決算書**
- 家庭決算書
- 分析
- 科目月別残高
- 予算実績対照表
- 消費損益月次推移表
- 家庭の経営分析
- 決算
- 年の終わりに
- 設定の変更
- ようこそ
- 初期設定
- 初期・財産対照表
- 消費科目の追加・変更
- ヘルプ
- マニュアル

現金入力

日付	入出金	内容	相手科目	金額
02/07	出金(減)	Aスーパーで野菜購入	日常生活費 / 食糧費	¥550

登録 クリア

降順表示 現金入力の手引き 科目一覧(財) 科目一覧(消)

日付	内容	相手科目	入金(増)	出金(減)	残高	訂正	複写	削除
----	----	------	-------	-------	----	----	----	----

(2) 登録キーをクリックすると、次のように入力されます。

家庭決算書2022

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

- 現金
- 電子マネー
- カードポイント
- 普通預金
- クレジットカード
- 振替帳
- 家庭決算書**
- 家庭決算書
- 分析
- 科目月別残高
- 予算実績対照表
- 消費損益月次推移表
- 家庭の経営分析
- 決算
- 年の終わりに
- 設定の変更
- ようこそ
- 初期設定
- 初期・財産対照表
- 消費科目の追加・変更
- ヘルプ
- マニュアル
- 家庭決算書の...

現金入力

日付 入出金 内容 相手科目 金額

02/07 出金(減) ¥0

登録 クリア

降順表示 現金入力の手引き 科目一覧(財) 科目一覧(消)

日付	内容	相手科目	入金(増)	出金(減)	残高	訂正	複写	削除
02/07	Aスーパーで野菜...	日常生活費 / 食糧費		¥550	¥56,000	訂正	複写	削除

(3) 訂正・複写・削除：

一覧表から、「訂正・複写・削除」したいデータがある場合には、その行の「訂正・複写・削除」ボタンをクリックすると、その行に記入されたデータの「訂正・複写・削除」ができます。

家庭決算書2022

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

- 現金
- 電子マネー
- カードポイント
- 普通預金
- クレジットカード
- 振替帳

家庭決算書

- 家庭決算書
- 分析
- 科目別残高
- 予算実績対照表
- 消費損益月次推移表
- 家庭の経営分析

決算

- 年の終わりに

設定の変更

- ようこそ
- 初期設定
- 初期・財産対照表
- 消費科目の追加・変更

ヘルプ

- マニュアル
- 家庭決算書Q&A

現金入力

日付 入出金 内容 相手科目 金額

02/07 出金(減) 日常生活費 / 食糧費 ￥550 ￥56,000

登録 クリア

降順表示 現金入力の手引き 科目一覧(財) 科目一覧(消)

日付	内容	相手科目	入金(増)	出金(減)	残高	訂正	複写	削除
02/07	Aスーパーで野菜...	日常生活費 / 食糧費		￥550	￥56,000	訂正	複写	削除

削除の確認

選択された情報を削除します。
一度削除すると取り消すことは出来ません。
よろしいですか？

はい(Y) いいえ(N)

(2) 電子マネー

プリペイド型(前払い型)電子マネーの入出金に関するものは、ここで入力します。

(例)

QRコード型：PayPay、d払い、auPay、LINE Pay、R（楽天）Cash など

ICカード型：Edy、Suica、ICOCA、PASMO、nanaco、WAON など

なお、即時払い型（例・デビットカード、iD など）は「普通預金」入力画面で、後払い型（例・QUICPay、R（楽天）Pay などのクレジットカードに紐づいた取引）は「クレジットカード」入力画面で処理します。

①日 付	②入出金	③内 容	④相手科目	⑤金 額
⑥電子マネー会社選択	⑦元 帳	⑧登 録	⑨クリア	

①日 付：日付のプルダウンメニューをクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダーから入出金のあった日を選択すると、日付が入力されます。

②入出金：その金額が電子マネーに入ってきたもの(電子マネーを増加させた)か、出ていったもの(電子マネーを減少させた)かによって、「入金（増）／出金（減）」のいずれかを選択します。

(注)

1. 現金による電子マネーへの「入金（チャージ）」は、電子マネー入力画面で処理します。現金入力画面から「出金（チャージ）」処理はできません。

2. クレジットカード決済による電子マネーへの「入金（チャージ）」は、電子マネー入力画面で処理します。クレジットカード入力画面から「出金（チャージ）」処理はできません。

3. カードポイントを併用して決済（商品購入）する場合は、電子マネー入力画面からカードポイント利用額を「入金」処理、またはカードポイント入力画面からカードポイント利用額を「出金」処理します。両方の入力画面から処理することができます。

③内 容：購入品の内容を記録する摘要欄です。商品名、店名などを直接入力しま

す。この摘要欄は空白のままでも構いません。

④相手科目：科目のプルダウンメニューをクリックすると科目一覧が表示されます。

該当科目をクリックすると科目が入力されます。

科目の入力を間違えたときは、正しい科目を選び直してクリックすると、正しい科目が入ります。

⑤金 額：消費税込みの金額を直接入力します。

※消費税と本体価格を分けて管理することができます。

消費税と本体価格を分けて管理する時は、本体価格を当該科目に、消費税額を「税金等－その他税金」に入力します。

⑥電子マネー会社選択：電子マネーの入力画面では、「初期設定」で登録した電子マネー会社ごとに入出金額を入力します。

電子マネー会社を変更する場合は、プルダウンメニューから電子マネー会社を選択し、クリックしてください。画面が切り替わります。

⑦元 帳：元帳をクリックすると、当該電子マネーの月毎の取引明細が表示されます。

⑧登 録：入力が済むと、『登録』ボタンをクリックできる状態になり、『登録』ボタンをクリックすると、下の一覧表に追加されます。

⑨クリア：入力間違いをしたとき、行全部を消去する場合に使用します。

訂正・複写・削除：「訂正・複写・削除」したいデータがある場合には、一覧表から、その行の「訂正・複写・削除」ボタンをクリックすると、その行に記入されたデータの「訂正・複写・削除」ができます。

家庭決算書2022

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

現金
電子マネー
カードポイント
普通預金
クレジットカード
振替帳

家庭決算書

分析

科目月別残高
予算実績対照表
消費損益月次推移表
家庭の経営分析

決算

年の終わりに

設定の変更

ようこそ
初期設定
初期・財産対照表
消費科目の追加・変更

電子マネー入力

日付 入出金 内容 相手科目 金額

02/01 02/01 02/01 02/01 02/01

電子マネー会社選択: スイカ 元帳 登録 クリア

降順表示 電子マネー入力の手引き 科目一覧(財) 科目一覧(消)

日付	内容	相手科目	入金(増)	出金(減)	残高	訂正	複写	削除
02/06	電車	日常生活費 / 交通費		¥480	¥4,720	訂正	複写	削除
02/06	バス	日常生活費 / 交通費		¥210	¥5,200	訂正	複写	削除
02/06	入金	現金	¥1,000		¥5,410	訂正	複写	削除
02/06	コンビニ	日常生活費 / 食糧費		¥380	¥4,410	訂正	複写	削除
02/06	電車	日常生活費 / 交通費		¥210	¥4,790	訂正	複写	削除

(3) カードポイント

カードポイントは、商品・サービスの購入時に付与され、当該ストアのみで利用できる「ハウス（ストア）ポイント」と、当該金融サービスに加盟する全てのストアで利用できる「共通（電子）ポイント」に大別することができます。

カードポイントの入出金があった場合は、ここで入力します。

①日 付	②入出金	③内 容	④相手科目	⑤金 額
⑥カードポイント会社選択	⑦元 帳	⑧登 録	⑨ク リ ア	

①日 付：日付のプルダウンメニューをクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダーから入出金のあった日を選択すると、日付が入力されます。

②入出金:その金額がカードポイントに入ってきたもの(カードポイントを増加させた)か、出ていったもの(カードポイントを減少させた)かによって、「入金(増)／出金(減)」のいずれかを選択します。

(注)

1. 現金とカードポイントを併用して決済を行った場合は、カードポイント利用相当額を、カードポイント入力画面から現金に「出金」して処理します。

2. 電子マネーとカードポイントを併用して決済を行った場合は、カードポイント利用相当額を、カードポイント入力画面から電子マネーに「出金」、または電子マネー入力画面でカードポイントから「入金」して処理します。

③内 容：購入品の内容を記録する摘要欄です。商品名、店名などを直接入力します。

この摘要欄は空白のままでも構いません。

④相手科目：科目のプルダウンメニューをクリックすると科目一覧が表示されます。

該当科目をクリックすると科目が入力されます。

科目の入力を間違えたときは、正しい科目を選び直してクリックすると、正しい科目が入ります。

⑤金 額：消費税込みの金額を直接入力します。

※消費税と本体価格を分けて管理することができます。

消費税と本体価格を分けて管理する時は、本体価格を当該科目に、消費税額を「税金等－その他税金」に入力します。

⑥カードポイント会社選択：カードポイントの入力画面では、「初期設定」で登録したカードポイント会社ごとに人出金額を入力します。

カードポイント会社を変更する場合は、プルダウンメニューからカードポイント会社を選択し、クリックしてください。画面が切り替わります。

⑦元 帳：元帳をクリックすると、当該カードポイントの月毎の取引明細が表示されます。

⑧登 録：入力が済むと、『登録』ボタンをクリックできる状態になり、『登録』ボタンをクリックすると、下の一覧表に追加されます。

⑨クリア：入力間違えをしたとき、行全部を消去する場合に使用します。

訂正・複写・削除：

一覧表から、「訂正・複写・削除」したいデータがある場合には、その行の「訂正・複写・削除」ボタンをクリックすると、その行に記入されたデータの「訂正・複写・削除」ができます。

（参考事例）カードポイントの入力処理

（１）Ｔ社のカードポイントが１０円分付与された場合

「カードポイント」入力画面で、①日付②入出金「入金（増）」、③内容「ポイント付与」、④相手科目「特別収入－カードポイント収入」、⑤金額「１０円」を入力し、⑧「登録」ボタンを押す。

（２）食料品の購入にＴ社のカードポイント２０円分を使用した場合

「カードポイント」入力画面で、①日付②入出金「出金（減）」、③内容「食料品」、④相手科目「日常生活費－食糧費」、⑤金額「２０円」を入力し、⑧「登録」ボタンを押す。

（３）Ｔ社のカードポイント３０円分が、期限切れや会社の都合で失効した場合

「カードポイント」入力画面で、①日付②入出金「出金（減）」、③内容「ポイント失効」、④相手科目「特別消費－カードポイント損失」、⑤金額「３０円」を入力し、⑧「登録」ボタンを押す。

家庭決算書2022

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

- 現金
- 電子マネー
- カードポイント
- 普通預金
- クレジットカード
- 振替帳
- 家庭決算書
- 月次家庭決算書
- 分析
- 科目月別残高
- 予算実績対照表
- 消費損益月次推移表
- 家庭の経営分析
- 決算
- 年の終わりに
- 設定の変更
- ようこそ
- 初期設定
- 初期・財産対照表
- 消費科目の追加・変更

カードポイント入力

日付 入出金 内容 相手科目 金額

01/01 01/01 01/01 01/01 01/01 ￥0

カードポイント会社選択: Tポイント 元帳 登録 クリア

降順表示 カードポイント入力の手引き 科目一覧(財) 科目一覧(消)

日付	内容	相手科目	入金(増)	出金(減)	残高	訂正	複写	削除
01/03	ポイント失効	カードポイント損失		￥30	￥960	訂正	複写	削除
01/02	食料品	日常生活費 / 食糧費		￥20	￥990	訂正	複写	削除
01/01	ポイント付与	カードポイント収入	￥10		￥1,010	訂正	複写	削除

(4) 普通預金

普通預金の入出金に関するものは、ここで入力します。

①日付	②入出金	③内 容	④相手科目	⑤金 額
⑥口座選択			⑦登 録	⑧ク リア

①日 付：日付のプルダウンメニューをクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダーから入出金のあった日を選択すると、日付が入力されます。

②入出金:その金額が普通預金口座に入ってきたもの(口座残高を増加させた)か、出ていったもの(口座残高を減少させた)かによって、「入金 (増) / 出金 (減)」

のいずれかを選択します。

(注)

1. 普通預金口座の残高が増減する取引は、すべて「普通預金」入力画面から処理します。

2. 例えば、ATMなどで現金を入出金する場合は、「普通預金」入力画面から処理します。「現金」入力画面から入出金の処理をすることはできません。

③内 容：購入品の内容を記録する摘要欄です。商品名、店名などを直接入力します。この摘要欄は空白のままでも構いません。

④相手科目：科目のプルダウンメニューをクリックすると科目一覧が表示されます。

該当科目をクリックすると科目が入力されます。

科目の入力を間違えたときは、正しい科目を選び直してクリックすると、正しい科目が入ります。

⑤金 額：消費税込みの金額を直接入力します。

※消費税と本体価格を分けて管理することができます。

消費税と本体価格を分けて管理する時は、本体価格を当該科目に、消費税額を「税金等－その他税金」に入力します。

⑥口座選択：普通預金の入力画面では、「初期設定」で登録した普通預金口座ごとに入出金額を入力します。

普通預金口座を変更する場合は、プルダウンメニューから当該口座を選択し、クリックしてください。画面が切り替わります。

⑦登 録：入力が済むと、『登録』ボタンをクリックできる状態になり、『登録』ボタンをクリックすると、下の一覧表に追加されます。

⑧クリア：入力間違いをしたとき、行全部を消去する場合に使用します。

訂正・複写・削除：「訂正・複写・削除」したいデータがある場合には、一覧表から、その行の「訂正・複写・削除」ボタンをクリックすると、その行に記入されたデータの「訂正・複写・削除」ができます。

預貯金通帳の入金・出金を見て、取引に漏れがないか、残高が合っているかを定期的にチェックするように心がけましょう。

■ 家庭決算書2022

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

- 現金
- 電子マネー
- カードポイント
- 普通預金
- クレジットカード
- 振替帳
- 家庭決算書

分析

- 科目月別残高
- 予算実績対照表
- 消費損益月次推移表

家庭の経営分析

決算

- 年の終わりに

設定の変更

- ようこそ
- 初期設定
- 初期・財産対照表
- 消費科目の追加・変更

ヘルプ

- マニュアル
- 家庭決算書Q&A

普通預金入力

日付 入出金 内容 相手科目 金額

01/25 入金(増) 給料入金 給料 300000

口座選択: 三菱UFJ

登録 クリア

降順表示 普通預金入力の手引き 給料の手引き 住宅ローンの手引き 科目一覧(財) 科目一覧(消)

日付	内容	相手科目	入金(増)	出金(減)	残高	訂正	複写	削除
01/07		カード未払金 / B		¥ 3,000	¥ 199,000	訂正	複写	削除
01/01		税金等 / 所得税		¥ 3,000	¥ 202,000	訂正	複写	削除
01/01		家族収入	¥ 5,000		¥ 205,000	訂正	複写	削除

毎月の給料の普通預金への振込み

毎月の給料が普通預金口座に振り込まれる場合、給料の総額（額面金額）から所得税、住民税、社会保険料などの金額があらかじめ天引き（控除）されて振り込まれるのが一般的です。

天引き（控除）される主な内訳と仕訳科目は、次のようになります。

天引き（控除）される主な内訳	仕訳科目
所得税	所得税
住民税	住民税
健康保険料	社会保険料
介護保険料	社会保険料

厚生年金保険料	社会保険料
雇用保険料	社会保険料
生命保険料（積立）	保険積立金
生命保険料（掛捨て）	保険料
積立金	積立金
財形貯蓄	財形貯蓄

たとえば、給料の総額（額面金額）が 300,000 円で、所得税、住民税などの控除金額が以下の表のような場合、入力処理は次のようになります。

（１）給料の総額（額面金額）の入力

普通預金の入力画面でまず 最初に、給料の総額（額面金額）300,000 円が、普通預金口座 に振り込まれたという処理をします。
日付、振込銀行 A 銀行、内容は給与振込み、相手科目は給与収入、入金で、300,000 円を入力し、登録をクリックします。

（２）天引き（控除）される内容ごとに個別に入力し、登録処理をします。

給料内訳	仕訳科目	金 額
給料の総額（額面金額）	給与収入	300,000
所得税	所得税	20,000
住民税	住民税	18,000
健康保険料	社会保険料	5,000
介護保険料	社会保険料	2,000
厚生年金保険料	社会保険料	8,000
雇用保険料	社会保険料	3,000
生命保険料（積立）	保険積立金	2,000
生命保険料（掛捨て）	保険料	1,500
積立金	積立金	5,000
財形貯蓄	財形貯蓄	10,000

家庭決算書2022

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

- 現金
- 電子マネー
- カードポイント
- 普通預金
- クレジットカード
- 振替帳
- 家庭決算書**
- 分析
 - 科目月別残高
 - 予算実績対照表
 - 消費損益月次推移表
 - 家庭の経営分析
- 決算
 - 年の終わりに
 - 設定の変更
- ようこそ
- 初期設定
- 初期・財産対照表
- 消費科目の追加・変更
- ヘルプ

普通預金入力

日付: 05/01 入出金: 内容: 相手科目: 金額: ¥0

口座選択: A銀行 登録 クリア

降順表示 普通預金入力の手引き 給料の手引き 住宅ローンの手引き 科目一覧(増) 科目一覧(消)

日付	内容	相手科目	入金(増)	出金(減)	残高	訂正	複写	削除
05/25	財形貯蓄	定期性預金 / 財形貯蓄		¥10,000	¥614,900	訂正	複写	削除
05/25	積立金	定期性預金 / B銀行		¥5,000	¥624,900	訂正	複写	削除
05/25	生命保険(掛捨て)	その他生活費 / 保険料		¥1,500	¥629,900	訂正	複写	削除
05/25	生命保険(積立)	保険積立金 / N生命		¥2,000	¥631,400	訂正	複写	削除
05/25	雇用保険料	税金等 / 社会保険料		¥3,000	¥633,400	訂正	複写	削除
05/25	厚生年金保険料	税金等 / 社会保険料		¥8,000	¥636,400	訂正	複写	削除
05/25	介護保険料	税金等 / 社会保険料		¥2,000	¥644,400	訂正	複写	削除
05/25	健康保険料	税金等 / 社会保険料		¥5,000	¥646,400	訂正	複写	削除
05/25	住民税	税金等 / 住民税		¥18,000	¥651,400	訂正	複写	削除
05/25	所得税	税金等 / 所得税		¥20,000	¥669,400	訂正	複写	削除
05/25	給与	給料	¥320,000		¥689,400	訂正	複写	削除

住宅ローンの返済

住宅ローンの返済は、通常、普通預金から住宅ローンの元金返済と支払利息の合計金額が引き落とされます。この場合、住宅ローンの元金の返済と支払利息の合計金額を一括して処理するのではなく、元金部分の返済処理と支払利息の処理に分けて入力します。

例えば、2月10日にA銀行の普通預金口座から135,000円が引き落とされ、この内訳は、借入金の元金部分の返済が100,000円、支払利息部分が35,000円だとした場合の入力処理は、次のようになります。

(1) 元金部分の返済の入力処理

普通預金口座からA銀行を選択して、日付を2月10日にして、内容を入力します。

次に、相手科目「負債」の「住宅ローンA銀行」を選択して、出金を選択し、金額100,000円を入力します。

（２）支払利息部分の入力処理

普通預金口座から A 銀行を選択して、日付を 2 月 1 0 日にして、内容を入力します。

次に、相手科目「特別消費」の「住宅ローン支払利息」を選択して、出金を選択し、金額 3 5, 0 0 0 円を入力します。

家庭決算書 2022

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

現金
電子マネー
カードポイント
普通預金
クレジットカード
振替帳

家庭決算書

分析

科目月別残高
予算実績対照表
消費損益月次推移表
家庭の経営分析

決算

年の終わりに

設定の変更

ようこそ
初期設定
初期・財産対照表
消費科目の追加・変更

普通預金入力

日付 入出金 内容 相手科目 金額

02/01 入力 内容 相手科目 ¥0

口座選択: A銀行 登録 クリア

降順表示 普通預金入力の手引き 給料の手引き 住宅ローンの手引き 科目一覧(財) 科目一覧(消)

日付	内容	相手科目	入金(増)	出金(減)	残高	訂正	複写	削除
02/10	住宅ローン支払...	住宅ローン支払利息		¥35,000	¥479,900	訂正	複写	削除
02/10	住宅ローン元金	住宅ローン / D銀行		¥100,000	¥514,900	訂正	複写	削除

（５）クレジットカード

クレジットカードを利用した商品やサービスの購入取引（クレジットカード利用による出金）があった場合は、ここで入力します。

①日付		②内容	③相手科目	④金額
⑤カード会社選択		⑥元帳	⑦登録	⑧クリア

①日 付：日付のプルダウンメニューをクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダーから入出金のあった日を選択すると、日付が入力されます。

②内 容：購入品の内容を記録する摘要欄です。商品名、店名などを直接入力します。この摘要欄は空白のままでも構いません。

③相手科目：科目のプルダウンメニューをクリックすると科目一覧が表示されます。

該当科目をクリックすると科目が入力されます。

科目の入力を間違えたときは、正しい科目を選び直してクリックすると、正しい科目が入ります。

④金 額：消費税込みの金額を直接入力します。

※消費税と本体価格を分けて管理することができます。

消費税と本体価格を分けて管理する時は、本体価格を当該科目に、消費税額を「税金等－その他税金」に入力します。

⑤カード会社選択：クレジットカードの入力画面では、「初期設定」で登録したカード会社ごとに出金額を入力します。

カード会社を変更する場合は、プルダウンメニューからカード会社を選択し、クリックしてください。画面が切り替わります。

⑥元 帳：元帳をクリックすると、当該クレジットカードの月毎の利用明細が表示されます。

⑦登 録：入力が済むと、『登録』ボタンをクリックできる状態になり、『登録』ボタンをクリックすると、下の一覧表に追加されます。

⑧クリア：入力間違いをしたとき、行全部を消去する場合に使用します。

(注)

1. 普通預金口座からの利用代金の引き落とし（決済）は、「普通預金」の入力画面で処理します。

2. クレジットカード決済による前払い式電子マネーへの「入金（チャージ）」は、電子マネー入力画面で処理します。クレジットカード入力画面から「出金（チャージ）」処理はできません。

3. 後払い式電子マネーを利用した取引は、当該電子マネーに決済が紐づいたクレジットカードを選択して処理します。

訂正・複写・削除：「訂正・複写・削除」したいデータがある場合には、一覧表から、その行の「訂正・複写・削除」ボタンをクリックすると、その行に記入されたデータの「訂正・複写・削除」ができます。

（参考事例）

（1）クレジットカード利用代金が普通預金から引き落とされた場合の処理

カード未払金の代金 56,000 円が、支払期日に A 銀行の普通預金から引き落とされた場合の処理は、次のようになります。

入力処理の「普通預金」をクリックします。次に、口座選択から A 銀行を選択します。

次に、日付「決済日」、入出金「出金」、内容「X カード会社決済」、相手科目「負債－カード未払金／X カード会社」、金額「56,000 円」を入力し、登録をクリックします。

※「クレジットカード」入力画面から上記の決済処理はできません。

家庭決算書2022

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

現金
電子マネー
カードポイント
普通預金
クレジットカード
振替帳
家庭決算書
月次家庭決算書

普通預金入力

日付 入出金 内容 相手科目 金額

01/26 出金 X カード会社決済 カード未払金 / X カード会社 56,000

口座選択: A銀行

登録 クリア

降順表示 普通預金入力の手引き 給料の手引き 住宅ローンの手引き 科目一覧(財) 科目一覧(消)

日付	内容	相手科目	入金(増)	出金(減)	残高	訂正	複写	削除
01/26	Xカード会社決済	カード未払金 / Xカード会社		¥56,000	¥144,000	訂正	複写	削除

(2) 普通預金口座の引き落とし時に、割り戻しが発生した場合の処理

例えば、クレジットカードで決済したレストランでの食事代金 5,800 円の 10%、580 円が割引かれ、5,220 円が引き落とされた場合、以下の 2 通りの入力処理を行います。

1. 引き落とし額 5,220 円の処理は、入力処理「普通預金」から行います。日付「決済日」、入出金「出金」、内容「X カード会社決済」、相手科目「カード未払金 / X カード会社」、金額「5,220 円」、を入力し、登録をクリックします。

2. 割り戻し金 580 円の処理は、入力処理の「振替帳」から行います。入力処理の「振替帳」をクリックし、日付「決済日」、内容「カード割り戻し」、金額「580 円」、左方「カード未払金 / X カード会社」、右方「特別別収入 - その他特別収入」を選択し、登録をクリックします。

※「クレジットカード」入力画面から上記の決済処理はできません。

家庭決算書2022

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

- 現金
- 電子マネー
- カードポイント
- 普通預金
- クレジットカード
- 振替帳
- 家庭決算書
- 月次家庭決算書

普通預金入力

日付 入出金 内容 相手科目 金額

01/26 出金 Xカード会社決済 Xカード会社 5,220 ¥0

口座選択: A銀行 登録 クリア

降順表示 普通預金入力の手引き 給料の手引き 住宅ローンの手引き 科目一覧(財) 科目一覧(消)

日付	内容	相手科目	入金(増)	出金(減)	残高	訂正	複写	削除
01/26	Xカード会社決済	カード未払金 / Xカード会...		¥5,220	¥138,780	訂正	複写	削除
01/26	Xカード会社決済	カード未払金 / Xカード会...		¥56,000	¥144,000	訂正	複写	削除

家庭決算書2022

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

- 現金
- 電子マネー
- カードポイント
- 普通預金
- クレジットカード
- 振替帳
- 家庭決算書
- 月次家庭決算書

振替帳

日付 内容 金額 左方 右方

01/26 カード割り戻し ¥580 カード未払金 / Xカード会... その他特別収入

登録 クリア

降順表示 振替帳入力の手引き 科目一覧(財) 科目一覧(消)

日付	内容	金額	左方	右方	訂正	複写	削除
01/26	カード割り戻し	¥580	カード未払金 / Xカード会...	その他特別収入	訂正	複写	削除

※参考事例（１）（２）の入力処理を行うと、クレジットカード入力画面では以下のように表示されます。

家庭決算書2022

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

現金
電子マネー
カードポイント
普通預金
クレジットカード
振替帳

家庭決算書
月次家庭決算書
分析

クレジットカード使用分

日付 内容 相手科目 金額

01/01 ¥0

カード会社選択: Xカード会社 元帳 登録 クリア

降順表示 クレジットカード入力の手引き 科目一覧(財) 科目一覧(消)

日付	内容	相手科目	左方	右方	残高	訂正	複写	削除
01/26	Xカード会社...	普通預金 / A銀行	¥56,000	¥0	¥5,800			削除
01/26	Xカード会社...	普通預金 / A銀行	¥5,220	¥0	¥580			削除
01/26	カード会社...	その他特別収入	¥580	¥0	¥0			削除
01/01	繰越		¥0	¥61,800	¥61,800	訂正	複写	削除

（６）振替帳

振替帳は、「現金」「電子マネー」「普通預金」の入金・出金（残高の増減）を伴わず、かつ「クレジットカード」を使用しない取引を入力します。（クレジットカードを使用した場合は「クレジットカード」に入力します）

家庭では、一般的に以下のような取引が発生した場合、振替帳を利用します。

- ①負債（クレジットカードを除く、住宅ローン、その他借入金、未払金、その他負債などの借入金）で資産を購入した場合
- ②負債（クレジットカードを除く、住宅ローン、その他借入金、未払金、その他負債などの借入金）で消費を行った場合
- ③クレジットカードの決済時に割引（割り戻し）が発生した場合
- ④資産の配当益が発生した場合
- ⑤資産の評価益（又は損）が発生した場合
- ⑥資産の売却益（又は損）が発生した場合
- ⑦定期性預金、その他預金に受取利息が発生した場合
- ⑧遺産や贈与を「現金」「普通預金」以外で受け取った場合
- ⑨商品券等の通貨代用証券を受け取った場合や商品券を使用して消費を行った場合（ただし、商品券等の通貨代用証券を「現金」とは別の資産科目、たとえば「その他資産」で管理している場合に限る）

①日 付	②内 容	③金 額	④左 方	⑤右 方
			⑥登 録	⑦ク リ ア

①日 付：日付のプルダウンメニューをクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダーから入出金のあった日を選択すると、日付が入力されます。

②内 容：振替帳を利用する取引内容を直接入力します。

③金 額：消費税込みの取引金額を直接入力します。

④左 方と⑤右 方：左方・右方のプルダウンメニューをクリックすると科目一覧が表示されます。次項の「振替帳の科目入力のルール」を参考にして、科目を選択します。該当科目をクリックすると科目が入力されます。

科目の入力を間違えたときは、正しい科目を選び直してクリックすると、正しい科目が入ります。

（注）

科目選択の組み合わせが正しい場合でも、左方と右方の選択が間違っていると、金額を増加させたいのに減少したり、減少させたいのに増加したりします。

以下の「■振替帳の科目入力のルール」と「■振替帳入力の具体例」を参照して、左方・右方を正しく選択するようにしましょう。

⑥登 録：入力が済むと、『登録』ボタンをクリックできる 状態になり、『登録』ボタンをクリックすると、下の一覧表に入力内容が追加表示されます。

⑦ク リ ア：入力間違いをした場合、行全部を消去する場合に使用します。

訂正・複写・削除：

一覧表から、「訂正・複写・削除」したいデータがある場合には、その行の「訂正・複写・削除」ボタンをクリックすると、その行に記入されたデータの「訂正・複写・削除」ができます。

■振替帳の科目入力ルール

振替帳の科目入力に関しては、左方（ひだりかた）と右方（みぎかた）の選択方法に運用ルールがあります。

（１）「資産科目」・「消費科目」を入力する場合

- ・左方を選択すると資産科目・消費科目の金額が増加します
- ・右方を選択すると資産科目・消費科目の金額が減少します

（２）「負債科目」・「正味財産科目」・「収入科目」を入力する場合

- ・左方を選択すると負債科目・正味財産科目・収入科目の金額が減少します
- ・右方を選択すると負債科目・正味財産科目・収入科目の金額が増加します

■振替帳入力の具体例

（例１）オートローンで１５０万円の自家用車を購入した場合

日付（購入日）、内容（車購入）、金額（１５０万円）

左方「資産－車両」／右方「負債－その他借入金」

（例２）教育ローンで入学金２０万円を支払った場合

日付（支払日）、内容（教育ローン）、金額（２０万円）

左方「消費－教育費」／右方「負債－その他借入金」

（例３）マンションの時価評価額（資産価値）が８０万円下がった場合

日付（時価評価日）、内容（時価の下落）、金額（８０万円）

左方「特別消費－資産評価損」／右方「資産－マンション」

（例４）５０万円で購入した株式を４５万円で売却したときの差額５万円の売却損の処理方法

日付（売却日）、内容（株売却損）、金額（５万円）

左方「特別消費－有価証券売却損」／右方「資産－有価証券（株式）」

（注：株式の売却代金４５万円は「普通預金」の入力画面で入金処理します）

（例５）有価証券の時価が３万円値上がりした場合

日付（時価評価日）、内容（株時価値上がり）、金額（３万円）

左方「資産－有価証券（株式）」／右方「特別収入－資産評価益」

日付	内容	金額	左方	右方	訂正	複写	削除
05/05	株時価値上がり	¥30,000	有価証券 / 株式	資産評価益	訂正	複写	削除
05/04	株売却損	¥50,000	有価証券売却損	有価証券 / 株式	訂正	複写	削除
05/03	時価の下落	¥800,000	資産評価損	マンション / マンション	訂正	複写	削除
05/02	教育ローン	¥200,000	その他生活費 / 教育費	その他借入金	訂正	複写	削除
05/01	車購入	¥1,500,000	車両 / 車両	その他借入金	訂正	複写	削除

■ 商品券の取り扱いについて

お米券や図書カード等の商品券は、現金等価物（通貨代用証券）として処理すべきものですが、「現金」と区分して扱ったほうが管理しやすいと思います。

家庭決算書では特に科目を設けておりませんので、「初期設定」の「その他資産」の項目に「商品券」という科目を設定されて、使われるとよいと思います。

（例１）現金５，０００円で商品券を購入した場合の処理方法

「現金」入力画面で、相手科目に「資産－その他資産（商品券）」を選択し、代金５，０００円を出金処理します。

日付	入出金	内容	相手科目	金額
02/01	出金(減)			¥0

日付	内容	相手科目	入金(増)	出金(減)	残高	訂正	複写	削除
02/01	商品券購入	その他資産 / 商品券		¥5,000	¥95,000	訂正	複写	削除

（例２）商品券１０，０００円分をプレゼントされた場合の処理方法

「振替帳」入力画面で、金額１０，０００円を入力し、左方「資産－その他資産

（商品券）」／右方「特別収入－その他特別収入」を選択します。

（例３）商品券で２，０００円の本を購入した場合の処理方法

「振替帳」入力画面で、金額２，０００円を入力し、左方「日常生活費－新聞図書費」／右方「資産－その他資産（商品券）」を選択します。

6. 家庭決算書

（１）月次の家庭決算書

この家庭決算書では、月次の財産対照表と消費損益計算書が表示されます。ここでは、現金、電子マネー、カードポイント、クレジットカード、普通預金、振替帳で入出金処理をした結果が、科目ごとに分類、集計されて財産対照表と消費損益計算書に表示されます。

家庭決算書の該当月を選択し、財産対照表または消費損益計算書のタブをクリックすると、入力の結果が、すぐに、財産対照表と消費損益計算書に表示されます。

財産対照表には、当月末の残高が表示されます。

消費損益計算書には、合計欄にその月の合計金額が表示され、累計欄に当月までの合計金額が表示されます。年次を選択した場合、財産対照表には１２月３１日の残高、消費損益計算書には、１２カ月分の累計額が表示されます。

また、消費割合の欄は、該当月の収入合計を１００とした場合の各科目ごとの割合を示しています。

月次の財産対照表と消費損益計算書に表示される当期消費損益は、今年の当該月まで働いて、自力で築き上げた財産の金額を表しています。

また、財産対照表と消費損益計算書に表示されている金額は、年の終わりに行

う「決算」の時価評価などの処理をする前の金額です。

財産対照表と消費損益計算書の科目をクリックすると、その科目の元帳を見ることが出来ます。

また、CSV への書き出しおよび印刷も可能なので、パソコン内に別ファイルとして保存したり、毎月プリントアウトして保管することが出来ます。今月の一言欄に当該月に対するコメントやメモを入力することも出来ます。

財産対照表

Family Accounting 2022

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

現金
電子マネー
カードポイント
普通預金
クレジットカード
振替帳

家庭決算書

分析

科目月別別高
予算実績対照表
消費損益月次推移表
家庭の経営分析

決算

年の終わりに

設定の変更

ようこそ
初期設定
初期・財産対照表
消費科目の追加・変更

ヘルプ

マニュアル
家庭決算書Q&A
科目一覧(財)
科目一覧(消)
解説
家庭決算書

家庭決算書

月を選択: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 年次

科目をクリックすると元帳が見られます

CSVへの書き出し 印刷 消費損益月次推移表

家庭決算書の手引き 家庭決算書の事例 家庭の経営分析

財産対照表 消費損益計算書

科目	金額	科目	金額
[資産]		[負債]	
現金	¥280,350	*住宅ローン	¥389,200
*電子マネー	¥5,000	その他借入金	¥0
スイカ	¥5,000	*カード未払金	¥0
*カードポイント	¥0	X会社	¥0
O会社	¥0	Y会社	¥0
*普通預金	¥369,400	未払金	¥0
A銀行	¥369,400	その他負債	¥0
*定期性預金	¥470,000	負債の合計	¥389,200
B銀行	¥470,000	[正味財産]	
財形貯蓄	¥0	家族財産	¥0
*その他預金	¥0	留保財産	¥641,400
土地	¥0	当期消費増益	¥114,150
建物	¥0	正味財産の合計	¥755,550
マンション	¥0	負債・正味財産の合計	¥1,144,750
*有価証券	¥0		
株式	¥0		
公社債	¥0		
投資(証券)他	¥0		
*保険積立金	¥0		
N生命	¥0		
車両	¥20,000		
*売却可能な高価品	¥0		
その他資産	¥0		
資産の合計	¥1,144,750		

今月の一言

登録

消費損益計算書

家庭決算書2022

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

現金
電子マネー
カードポイント
普通預金
クレジットカード
振替帳

家庭決算書

分析

科目月別残高
予算実績対照表
消費損益月次推移表
家庭の経営分析

決算

年の終わりに

設定の変更

ようこそ
初期設定
初期・財産対照表
消費科目の追加・変更

ヘルプ

マニュアル
家庭決算書Q&A
科目一覧(財)
科目一覧(消)
解説

家庭決算書

家庭決算書

月を選択: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 年次

CSVへの書き出し 印刷 消費損益月次推移表

科目をクリックすると元帳が見られます

家庭決算書の半引き 家庭決算書の事例 家庭の経営分析

財産対照表 消費損益計算書

科目	合計	消費割合	累計	科目	合計	消費割合	累計
[収入]				[特別収入]			
給料	¥320,000	100%	¥320,000	受取利息・受取配当金	¥0	0.00%	¥0
賞与	¥0	0.00%	¥0	受贈給付金	¥0	0.00%	¥0
家族収入	¥0	0.00%	¥0	資産評価益	¥0	0.00%	¥0
年金・その他収入	¥0	0.00%	¥0	有価証券売却益	¥0	0.00%	¥0
収入の合計	¥320,000	100.00%	¥320,000	カードポイント収入	¥0	0.00%	¥0
[消費]				その他特別収入	¥0	0.00%	¥0
*税金等	¥40,000	15.00%	¥40,000	特別収入の合計	¥0	0.00%	¥0
所得税	¥21,000	6.56%	¥21,000	[特別消費]			
住民税	¥12,000	3.75%	¥12,000	住宅ローン支払利息	¥35,000	10.94%	¥35,000
社会保険料	¥15,000	4.69%	¥15,000	その他支払利息	¥0	0.00%	¥0
その他税金	¥0	0.00%	¥0	資産評価損	¥0	0.00%	¥0
*日常生活費	¥37,250	11.64%	¥37,250	有価証券売却損	¥0	0.00%	¥0
食糧費	¥3,650	1.14%	¥3,650	カードポイント損失	¥0	0.00%	¥0
通信費	¥18,500	5.78%	¥18,500	その他特別消費	¥0	0.00%	¥0
交通費	¥700	0.22%	¥700	特別消費の合計	¥35,000	10.94%	¥35,000
水道光熱費	¥14,100	4.41%	¥14,100	当期消費損益	¥114,150	35.67%	¥114,150
新聞図書費	¥0	0.00%	¥0				
消耗品費	¥300	0.09%	¥300				
その他	¥0	0.00%	¥0				
*その他生活費	¥85,600	26.75%	¥85,600				
外食費	¥5,800	1.81%	¥5,800				
交際費	¥0	0.00%	¥0				
医療費	¥0	0.00%	¥0				
旅行費	¥35,800	11.19%	¥35,800				
教育費	¥0	0.00%	¥0				
衣料費	¥44,000	13.75%	¥44,000				
その他	¥0	0.00%	¥0				
保険料	¥0	0.00%	¥0				
消費の合計	¥170,850	53.39%	¥170,850				
通常消費損益	¥149,150	46.61%	¥149,150				

今月の一覧

登録

(2) 年の終わりの家庭決算書

1. 本年度の家庭決算書の完成

家庭決算書2022

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

現金
電子マネー
カードポイント
普通預金
クレジットカード
振替帳

家庭決算書

分析

科目月別残高
予算実績対照表
消費損益月次推移表
家庭の経営分析

決算

年の終わりに

年価評価

家庭決算書 留保財産 来年度の財産対照表

本年度の家庭決算書が出来ました。

翌年度に繰り越す時には、この後で表示される「来年度の財産対照表」をご利用下さい。

翌年度に向けて、引き続き留保財産の確認を行います。
「次へ」を押して先に進んでください。

本年度の家庭決算書を表示する

< 戻る 次へ > キャンセル 年の終わりにの手引き

2. 「本年度の家庭決算書を表示する」をクリックします。

「財産対照表」のタブをクリックすると本年度の財産対照表を見ることができます。

「消費損益計算書」のタブをクリックすれば消費損益計算書を見ることができます。

当期消費損益は、今年1年間働いて、自力で築き上げた財産の金額を表しています。

財産対照表

家庭決算書 2022			
ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウインドウ(W) ヘルプ(H)			
入力処理			
現金			
電子マネー			
カードポイント			
普通預金			
クレジットカード			
預金簿			
家庭決算書			
分析			
科目月別残高			
予算実績対照表			
消費損益月次推移表			
家庭の経営分析			
決算			
年の終わりに			
設定の変更			
ようこそ			
初期設定			
初期・財産対照表			
消費科目の追加・変更			
ヘルプ			
マニュアル			
家庭決算書Q&A			
科目一覧(財)			
科目一覧(債)			
解説			
家庭決算書			

家庭決算書			
月を選択: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 年次		CSVへの書き出し 印刷 消費損益月次推移表	
科目をクリックすると元帳が見られます			
家庭決算書の手引き 家庭決算書の事例 家庭の経営分析			
財産対照表 消費損益計算書			
科目	金額	科目	金額
【資産】		【負債】	
現金	¥279,950	*住宅ローン	¥389,200
*電子マネー	¥4,720	その他借入金	¥0
スイカ	¥4,720	*カード未払金	¥0
*カードポイント	¥390	X会社	¥0
O会社	¥990	Y会社	¥0
*普通預金	¥479,900	未払金	¥0
A銀行	¥479,900	その他負債	¥0
*定期性預金	¥495,000	負債の合計	¥389,200
B銀行	¥475,000	【正味財産】	
財形貯蓄	¥10,000	家計財産	¥0
*その他預金	¥0	信託財産	¥641,400
土地	¥0	当期消費損益	-¥679,240
建物	¥0	正味財産の合計	-¥27,840
マンション	-¥800,000	負債・正味財産の合計	¥351,360
*有価証券	-¥20,000		
株式	-¥20,000		
公社債	¥0		
投資信託	¥0		
*保険積立金	¥0		
N生命	¥0		
車両	¥22,000		
*売却可能な高価品	¥1,500,000		
その他資産	¥0		
資産の合計	¥1,951,260		

今月の一言

消費損益計算書

科目	合計	累計
[収入]		
給料	¥640,000	¥640,000
賞与	¥0	¥0
家族収入	¥0	¥0
年金・その他収入	¥0	¥0
収入の合計	¥640,000	¥640,000
[消費]		
税金等	¥104,000	¥104,000
所得税	¥41,000	¥41,000
住民税	¥30,000	¥30,000
社会保険料	¥33,000	¥33,000
その他税金	¥0	¥0
日常生活費	¥38,540	¥38,540
食糧費	¥4,040	¥4,040
通信費	¥18,500	¥18,500
交通費	¥1,600	¥1,600
水道光熱費	¥14,100	¥14,100
新聞図書費	¥0	¥0
消耗品費	¥300	¥300
その他	¥0	¥0
その他の生活費	¥287,100	¥287,100
外食費	¥5,000	¥5,000
文楽費	¥0	¥0
医療費	¥0	¥0
旅行費	¥35,000	¥35,000
教育費	¥200,000	¥200,000
衣料費	¥44,000	¥44,000
その他	¥0	¥0
保険料	¥1,500	¥1,500
消費の合計	¥429,640	¥429,640
当期消費損益	¥210,360	¥210,360

7. 分析

(1) 科目月別残高

ここでは、設定した科目ごとに「月別」の合計額と「元帳」（日別の明細）を表示します。

(1) 科目月別残高の科目選択から分析したい科目を選んでクリックします。

右側に選択した科目の月別の残高または合計金額が表示されます。

選択した科目の月別の残高または合計金額は、月次の財産対照表と消費損益計算書の選択した科目の金額と一致しています。

同時に、下の欄に月別推移の棒グラフが表示されます（千円単位／端数切捨表示）。

(2) つぎに、分析したい月の右側の「明細」をクリックすると、当該科目の「元帳」が表示されます。

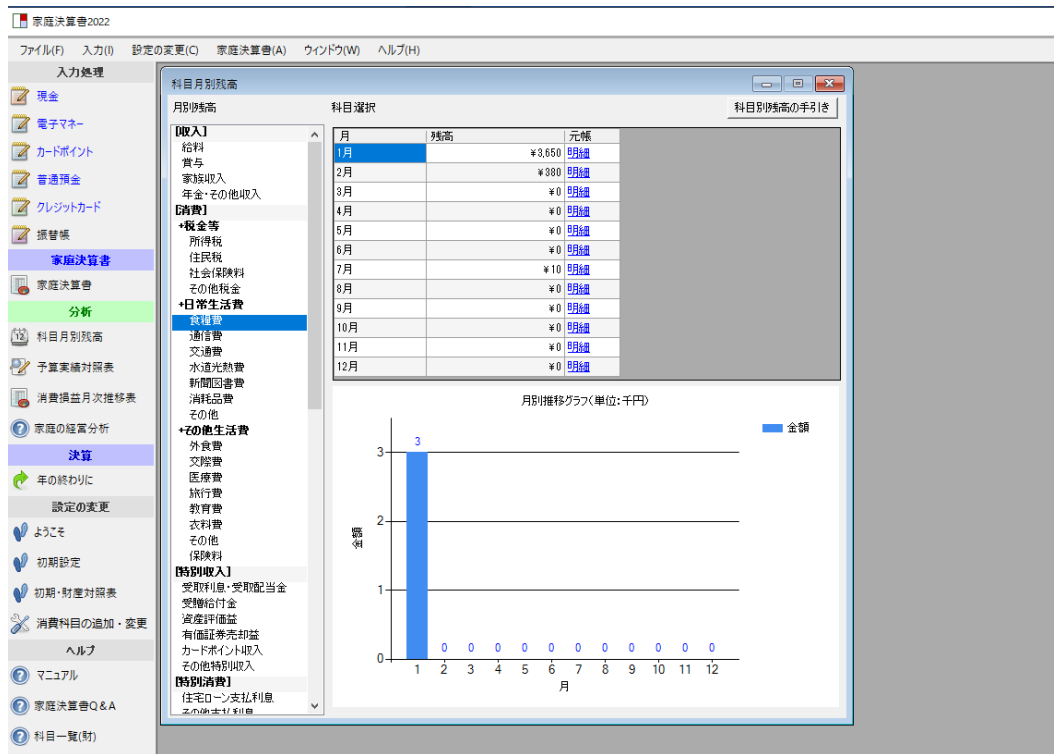
「元帳」には、分析したい科目の1カ月間の取引明細がすべて表示されます。

「元帳」は CSV 形式での書き出しおよび印刷も可能です。書き出した CSV をエクセルなど表計算ソフトで読み込み、分析したり、コメントなどを書き込むことも出来ます。

(参考)

この科目月別残高を利用すると、年末調整や確定申告に利用できる保険料や医療費等の合計金額が簡単に把握できます。

科目月別残高



元帳（科目日別の明細）

科目日別帳

月	科目	元帳
1月	給料	¥3,650
2月	賞与	¥200
3月	家族収入	¥0
4月	年金・その他収入	¥0

元帳

日常生活費 / 食費 1月明細

日付	内容	相手科目	左方	右方	残高
01/08	スーパー	現金	¥850	¥0	¥850
01/18	コンビニ	現金	¥500	¥0	¥1,350
01/20	スーパー	現金	¥2,000	¥0	¥3,650

（２） 予算実績対照表

各科目ごとに一年間の予算（年次予算）と一ヵ月ごとの予算（月次予算）を設定し、実績と比較をして予算管理に利用することができます。

予算以内であれば、**緑色**で表示されます。

予算をオーバーしている場合には、**赤色**で表示されます。

（注意）

予算の場合、財産対照表と消費損益計算書の当期消費損益の金額が、一致しない可能性があるため、財産対照表の予算の留保財産は、計算されないように作られています。

1、財産対照表

各科目ごとに一ヵ月ごとの予算（月次予算）を設定することができます。

各科目ごとの実績の金額は、入力処理した金額が自動的に計算されて表示されます。

当該月、単月の差額だけでなく、当該月までの累計の差額も自動的に計算されて表示されます。

8. 決算（年の終わりに）

1 時価評価

年度末（１２月３１日現在）に、この画面で財産対照表の資産の再評価を行います。各資産の年度末（１２月３１日現在）の時価を調べて、資産の残高を時価に置き換えます。

「期末の時価評価額」欄に時価を入力すると、差額（資産評価益／損）が自動計算されます。

建物、マンションなど時価が分からない場合、減価償却をして評価を下げる方法もあります。

資 産 名	耐用年数
マンション	47年
建物（木造）	22年
建物（木造モルタル）	20年
自家用車	6年
オートバイ	3年
自転車	2年

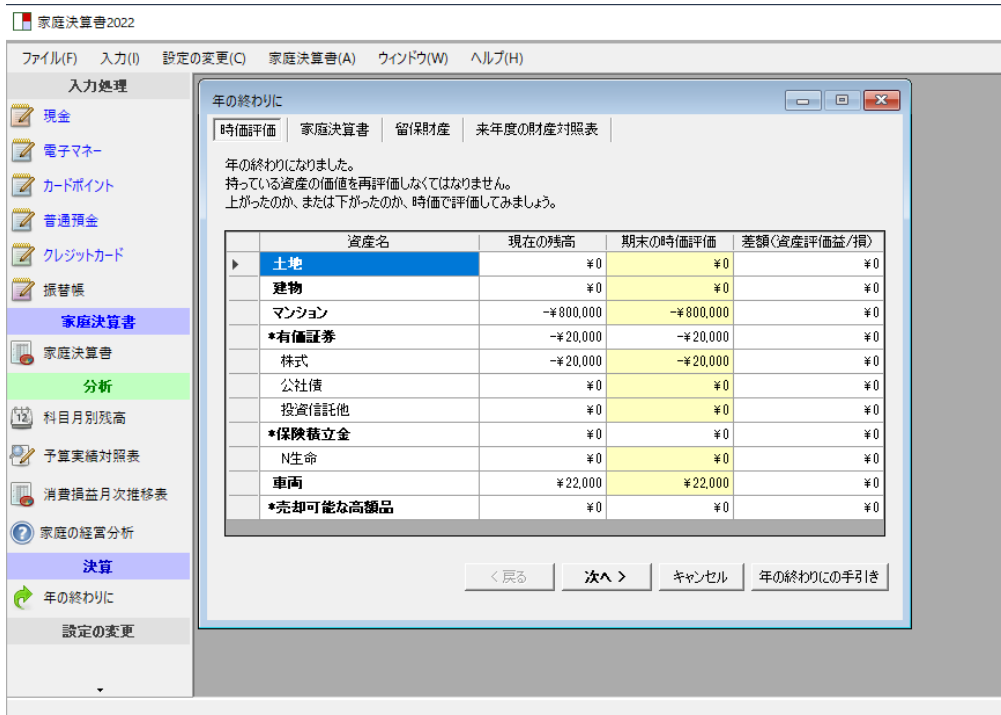
減価償却費＝取得価額÷耐用年数

（例）

マンションの取得価額が47,000,000円の場合

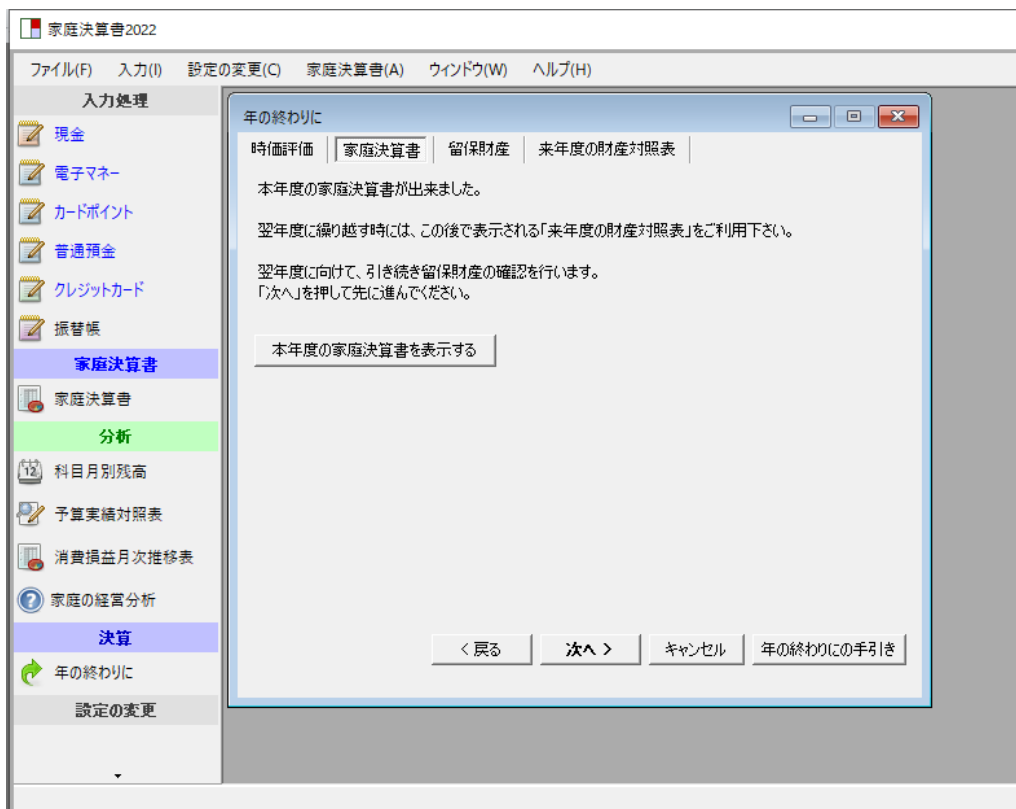
減価償却費

47,000,000円÷47年＝1,000,000円



2 家庭決算書

これで本年度の家庭決算書が完成します。



3、「本年度の家庭決算書を表示する」をクリックします。

「財産対照表」のタブをクリックすると本年度の財産対照表を見ることができます。

「消費損益計算書」のタブをクリックすれば消費損益計算書を見ることができます。

当期消費損益は、今年1年間働いて、自力で築き上げた財産の金額を表しています。

財産対照表

家庭決算書2022	
ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	
入力処理	
現金 電子マネー カードポイント 普通預金 クレジットカード 振替帳 家庭決算書 分析 科目月別残高 予算実績対照表 消費損益月次推移表 家庭の経営分析 決算 年の終わりに 設定の変更 ようこそ 初期設定 初期・財産対照表 消費科目の追加・変更 ヘルプ マニュアル 家庭決算書Q&A 科目一覧(財) 科目一覧(消) 解説 家庭決算書	
家庭決算書	
月を選択: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 年次	
科目をクリックすると元帳が見られます	
CSVへの書き出し 印刷 消費損益月次推移表	
家庭決算書の手引き 家庭決算書の事例 家庭の経営分析	
財産対照表 消費損益計算書	
科目	金額
【資産】	
現金	¥279,350
*電子マネー	¥4,720
スイカ	¥4,720
*カードポイント	¥390
○会社	¥390
*普通預金	¥479,900
A銀行	¥479,900
*定期性預金	¥485,000
B銀行	¥475,000
財形貯蓄	¥10,000
*その他預金	¥0
土地	¥0
建物	¥0
マンション	-¥800,000
*有価証券	-¥20,000
株式	-¥20,000
公社債	¥0
投資信託他	¥0
*保険積立金	¥0
N生命	¥0
車両	¥22,000
*売却可能な高価品	¥1,500,000
その他資産	¥0
資産の合計	¥1,951,360
科目	金額
【負債】	
*住宅ローン	¥389,200
その他借入金	¥0
*カード未払金	¥0
X会社	¥0
Y会社	¥0
未払金	¥0
その他負債	¥0
負債の合計	¥389,200
【正味財産】	
家族財産	¥0
留保財産	¥641,400
当期消費損益	-¥679,240
正味財産の合計	-¥37,840
負債・正味財産の合計	¥351,360
今日の一言	
登録	

消費損益計算書

家庭決算書2022

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

現金

電子マネー

カードポイント

普通預金

クレジットカード

振替帳

家庭決算書

分析

科目月別残高

予算実績対照表

消費損益月次推移表

家庭の経営分析

決算

年の終わりに

設定の変更

ようこそ

初期設定

初期・財産対照表

消費科目の追加・変更

ヘルプ

マニュアル

家庭決算書Q&A

科目一覧(財)

科目一覧(消)

解説

家庭決算書

家庭決算書

月を選択: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 年次

科目をクリックすると元帳が見られます

CSVへの書き出し 印刷 消費損益月次推移表

家庭決算書の手引き 家庭決算書の事例 家庭の経営分析

財産対照表 消費損益計算書

科目	合計	累計	科目	合計	累計
[収入]					
給料	¥640,000	¥640,000	受取利息・受取配当金	¥0	¥0
賞与	¥0	¥0	受贈給付金	¥0	¥0
家族収入	¥0	¥0	資産評価益	¥30,000	¥30,000
年金・その他収入	¥0	¥0	有価証券売却益	¥0	¥0
収入の合計	¥640,000	¥640,000	カードポイント収入	¥400	¥400
[消費]					
*税金等	¥104,000	¥104,000	その他特別収入	¥0	¥0
所得税	¥41,000	¥41,000	特別収入の合計	¥30,400	¥30,400
住民税	¥30,000	¥30,000	[特別消費]		
社会保険料	¥33,000	¥33,000	住宅ローン支払利息	¥70,000	¥70,000
その他税金	¥0	¥0	その他支払利息	¥0	¥0
*日常生活費	¥38,540	¥38,540	資産評価損	¥800,000	¥800,000
食糧費	¥4,040	¥4,040	有価証券売却損	¥50,000	¥50,000
通信費	¥18,500	¥18,500	カードポイント損失	¥0	¥0
交通費	¥1,600	¥1,600	その他特別消費	¥0	¥0
水道光熱費	¥14,100	¥14,100	特別消費の合計	¥920,000	¥920,000
新聞図書費	¥0	¥0	当期消費損益	¥679,240	¥679,240
消耗品費	¥300	¥300			
その他	¥0	¥0			
*その他生活費	¥287,100	¥287,100			
外食費	¥5,800	¥5,800			
文楽費	¥0	¥0			
医療費	¥0	¥0			
旅行費	¥35,800	¥35,800			
教育費	¥200,000	¥200,000			
衣料費	¥44,000	¥44,000			
その他	¥0	¥0			
保険料	¥1,500	¥1,500			
消費の合計	¥429,640	¥429,640			
通常消費損益	¥210,360	¥210,360			

今日の一言

登録

4 留保財産の計算

留保財産は、今まで働いて、自力で築き上げた財産の金額です。

来年度開始時の留保財産

本年度の決算書の留保財産（昨年度までに築き上げてきた財産）と当期消費損益（今年築き上げた財産）を合計したものが、来年度の開始時の留保財産になります。

画面では、本年度の決算書の留保財産と当期消費損益、来年度開始時の留保財産が自動的に計算されて表示されます。

家庭決算書2022

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

- 現金
- 電子マネー
- カードポイント
- 普通預金
- クレジットカード
- 振替帳
- 家庭決算書**
- 家庭決算書
- 分析
- 科目月別残高
- 予算実績対照表
- 消費損益月次推移表
- 家庭の経営分析
- 決算
- 年の終わりに
- 設定の変更

年の終わりに

時価評価 | 家庭決算書 | 留保財産 | 来年度の財産対照表

本年度の計算が全て終了しました。
来年度の留保財産を求めておきましょう。

決算書の留保財産 ① ￥641,400

決算書の当期消費損益 ② -¥679,240

来年度開始の留保財産を算出

来年度の留保財産 ①+② -¥37,840

これで本年度の全ての作業が完了しました。
「次へ」を押すと来年度の財産対照表が表示されます。
来年の家庭決算書を作成する際にお役立て下さい。

< 戻る 次へ > キャンセル 年の終わりにの手引き

5 来年度の財産対照表

来年度開始時の財産対照表が表示されます。

この画面を印刷して、来年度のはじめの財産対照を作成するときに、
利用します。

家庭決算書2022

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

- 現金
- 電子マネー
- カードポイント
- 普通預金
- クレジットカード
- 振替帳
- 家庭決算書
- 分析
- 科目月別残高
- 予算実績対照表
- 消費損益月次推移表
- 家庭の経営分析
- 決算
- 年の終わりに
- 設定の変更
- ようこそ
- 初期設定
- 初期・財産対照表
- 消費科目の追加・変更
- ヘルプ
- マニュアル
- 家庭決算書Q&A
- 科目一覧(財)
- 科目一覧(消)
- 解説
- 家庭決算書

年の終わりに

時価評価 | 家庭決算書 | 留保財産 | 来年度の財産対照表

CSVへの書き出し | 印刷

科目	金額	科目	金額
[資産]		[負債]	
現金	¥279,350	*住宅ローン	¥389,200
*電子マネー	¥4,720	その他借入金	¥0
スイカ	¥4,720	*カード未払金	¥0
*カードポイント	¥390	X会社	¥0
O会社	¥390	Y会社	¥0
*普通預金	¥479,900	未払金	¥0
A銀行	¥479,900	その他負債	¥0
*定期性預金	¥485,000	負債の合計	¥389,200
B銀行	¥475,000	[正味財産]	
財形貯蓄	¥10,000	家族財産	¥0
*その他預金	¥0	留保財産	-¥37,840
土地	¥0	当期消費損益	¥0
建物	¥0	正味財産の合計	-¥37,840
マンション	-¥800,000	負債・正味財産の合...	¥351,360
*有価証券	-¥20,000		
株式	-¥20,000		
公社債	¥0		
投資信託他	¥0		
*保険積立金	¥0		
N生命	¥0		
車両	¥22,000		
*売却可能な高価品	¥0		
その他資産	¥0		
資産の合計	¥451,360		

< 戻る | 完了 | キャンセル | 年の終わりにの手引き

9. 消費科目の追加・変更

消費損益計算書の日常生活費およびその他生活費には、一般的な補助科目名称が設定されています。

この入力画面で既存設定された補助科目名称を変更することができます。

また設定された科目以外に、自分で新しく補助科目を追加設定する場合には、「追加」ボタンを押して新たな入力枠（セル）を表示し、新しい補助科目を入力してください。

補助科目は日常生活費およびその他生活費にそれぞれ30科目まで追加できます。

ただし、一度「閉じる」ボタンを押して追加科目を確定すると、それ以降、名称の変更は出来ませんが、増やした科目枠の削除はできなくなります。

使わなくなった科目は、金額をゼロにすることで対応してください。

(参 考)

追加しておく と 便利な 科目

住居費	家賃、修繕費、設備維持費など
家具・家事用品費	家電品、寝具、インテリアなどの代金
保険料	生命保険、損害保険の保険料
金融手数料	口座振替、振込手数料、クレジットカードの会費など
雑費	科目分けのしづらい少額の費用
現金過不足	現金残高の過不足や使途不明金を調整する科目
小遣い	使途自由な小遣い
その他費	その他生活費で科目分けのしづらい費用

よく利用するお店の名を科目名に使う

・・・スーパー費	・・・スーパーで使った代金を一括して計上
***コンビニ費	***コンビニで使った代金を一括して計上
レストラン XX 費	レストラン XX で使った代金を一括して計上
***ゴルフ費	***ゴルフ店で使った代金を一括して計上
XXX 楽器費	XXX 楽器店で使った代金を一括して計上
レシートの総額を入力して、例えば食費と消耗品費に分類する手間を省く	

趣味やショッピングに使ったものを細かく別科目にする

ファッション費	外出用衣料や贅沢衣料
美容費	美容院代・エステ代
化粧品費	化粧品
靴・バッグ費	靴やハンドバッグ
レジャー費	レジャー・娯楽費用
アクセサリー・小物費	アクセサリー・革小物・腕時計
クリーニング費	クリーニング代
日常衣料費	下着、ストッキングなど
酒・タバコ費	酒・タバコ代を食費と別管理
会食・喫茶費	外食代、喫茶代
昼食・惣菜費	テイクアウトの弁当や惣菜費を食費と別管理

家庭決算書2022

ファイル(F) 入力(I) 設定の変更(C) 家庭決算書(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

入力処理

現金

電子マネー

カードポイント

普通預金

クレジットカード

振替帳

家庭決算書

分析

科目月別残高

予算実績対照表

消費損益月次推移表

家庭の経営分析

決算

年の終わりに

設定の変更

ようこそ

消費科目の追加・変更

補助科目

補助科目の設定を行います。
追加できる科目数はそれぞれ30個までです。

消費科目の追加・変更の手引き

日常生活費

その他生活費

入力時随時	補助科目名称
<input checked="" type="checkbox"/>	その他
<input type="checkbox"/>	交通費
<input type="checkbox"/>	水道光熱費
<input type="checkbox"/>	通信費
<input type="checkbox"/>	消耗品費
<input type="checkbox"/>	新聞図書費
<input type="checkbox"/>	食糧費

入力時随時	補助科目名称
<input checked="" type="checkbox"/>	外食費
<input type="checkbox"/>	交際費
<input type="checkbox"/>	医療費
<input type="checkbox"/>	旅行費
<input type="checkbox"/>	教育費
<input type="checkbox"/>	衣料費
<input type="checkbox"/>	その他
<input type="checkbox"/>	保険料

追加

削除

追加

削除

閉じる

1 0 . Q&A

「家庭決算書」 Q & A

	家庭決算書について
Q	家庭決算書はどのような内容なのか。
A	<p>家庭決算書は、財産対照表と消費損益計算書という2つの報告書から構成されています。財産対照表は家庭の財産の状態を表すもので、資産、負債と正味財産という内容で構成され、資産は負債と正味財産の合計に一致します。</p> <p>また、消費損益計算書は、家庭の収入から消費を差し引いて消費損益を計算するものです。</p> <p>財産対照表と消費損益計算書はバラバラではなく、両者が一体となって構成されており、どちらか一方が欠けてしまうと家庭の経営には役立ちません。</p>
Q	家庭決算書のスタートは、1月からでないといけないのでしょうか。
A	<p>そのようなことはありません。購入した月から始めて問題はありません。</p> <p>ただ、月の途中から始めるのではなく、その月の初めからスタートすることを、お勧めします。また、当社の家庭用会計ソフト「家庭決算書」は、会計期間を給与所得者の計算期間である暦年基準にしたがい、1月1日から12月31日に確定してあります。</p> <p>したがって、年の途中から開始された場合でも12月31日で決算を迎えることになります。</p>
Q	家庭決算書の作成手順はどのようになっていますか。
A	<p>(1) 現時点の資産や負債の内容を示す「はじめの財産対照表」を作成します。</p> <p>(2) 家庭の消費生活の現金や普通預金などの取引内容を記帳し</p>

	<p>ます。</p> <p>(3) これらのすべての取引を科目ごとに分類、集計します。</p> <p>(4) 科目ごとに分類、集計されたすべての取引を、決算を行い財産が増減するものと、収入、消費が発生、消滅するものに分けて、家庭決算書を作成します。</p> <p>(5) 決算で作成した財産対照表を、翌年度へ繰り越します。</p>
Q	今年度版のデータは来年度版のデータに継続できますか。
A	<p>できます。家計簿と違って、今年度版の決算後の財産対照表のデータは、来年度版の最初のデータとして継続していきます。さらに、翌年度版へと毎年、毎年、決算後の財産対照表のデータは、継続していくことができます。</p> <p>ただし、家庭用会計ソフト「家庭決算書」は、年度ごとの集計となりますので、来年度版への繰越は、今年度版の「年の終わりに」の「来年度の財産対照表」の数字を、来年度版の初期設定で、新たに入力していただくことになります。</p>
Q	家庭決算書は、複式簿記を応用して作られていると書いてありますが、従来の家計簿との一番大きな違いは何ですか。
A	<p>従来の家計簿との一番大きな違いは、計算記録の結果が、毎年、毎年、継続して、つながっていくのか、いかないのかという点です。</p> <p>従来の家計簿のメインテーマは、「節約・貯蓄」「予算と実績の比較・チェック」でした。しかし、この家計簿は単式簿記といわれ、記録した計算結果は1年で終わってしまい、来年にはつながっていきません。また、家計簿では、クレジットカードや電子マネーなどによる取引や住宅ローンの残高などを即時正確に反映・管理することができません。</p> <p>そこで、このような欠点を補うため、複式簿記の考え方を取り入れた新しい家庭経営のツールとして、考え出されたのが、「家庭簿記」(家庭用複式簿記)です。</p> <p>「家庭簿記」によって作られる「家庭決算書」は、自分達で計算した記録の結果が、1年で終わることはなく、来年へとつながっていきます。</p>
Q	複式簿記と言うと難しそうですが
A	「家庭決算書」を利用するにあたっては、複式簿記や会計の知識

	<p>をとくに必要としません。</p> <p>現金や預金などの入出金の金額を入力するだけで、自分たちの家庭の「財産対照表」と「消費損益計算書」が計算されて、家庭経営に役立つようになっていきます。</p>
Q	家庭経営をしていく上で大切なことは。
A	<p>自分の意思で家庭を経営することです。そのためには、自分達にとって必要な正しい情報を入手することです。情報にはマスコミや友人など外部から得られる情報と自分で作った内部情報があります。家庭決算書は自分で作った、自分達の情報で、この情報を持つことによって家庭生活におけるさまざまな場面で、満足できる管理が可能となるのです。</p>
	初期設定について
Q	「消費科目名」がすでに設定されていますが、新たに科目設定を追加したり、変更したりできますか。
A	<p>できます。「日常生活費」と「その他生活費」の科目名は、「消費科目の追加・変更」ボタンを操作することで、30科目まで自由に科目名が設定できるようになっています。</p>
Q	「初期設定」で入力する土地、マンションなどの不動産や有価証券の時価評価額は、すべて厳密に計算しないとだめでしょうか。また一部入力漏れがあった場合、あとで訂正はできますか。
A	<p>「初期設定」は、すべて正しく入力することがベストですが、あとで 価額の変更、追加入力など訂正は可能です。まず、現状でわかる金額を 入力してスタートすることをお勧めします。</p>
Q	初期設定はたくさん科目があって、私には難しく思われます。それで、最初の入力は、いま分かる現金と普通預金だけ入力してスタートさせても、問題はないでしょうか。
A	<p>問題はありません。いま分かる財産（たとえば、現金、普通預金、借入金など）を入力してスタートし、あとで分かったものを順次追加計上し、自分たちの財産の内容を充実させていくと良いでしょう。</p>
Q	金残高がマイナスの場合、初期設定の入力は、どのようにしたら良いでしょうか。

A	<p>初期設定の普通預金の残高がマイナスの場合でも、マイナスの金額のままで入力してください。</p>
	<p>入力について</p>
Q	<p>お米券や図書カード等の商品券などは、どのように処理したらよいのでしょうか。</p>
A	<p>お米券や図書カード等の商品券は、現金等価物（通貨代用証券）として処理すべきものですが、現金と区分して扱ったほうが管理しやすいと思います。</p> <p>現在、家庭決算書では、特に区分をしておりませんので、「その他資産」の欄に「商品券」という科目を設定されて、使われるとよいと思います。</p> <p>（１）現金５００円で商品券を購入した場合</p> <p>現金入力で相手科目その他資産（商品券）を選択し、</p> <p>支出５００円を登録します。</p> <p>（２）商品券５００円分をプレゼントされた場合</p> <p>振替帳入力で、</p> <p>左方 商品券 / 右方 その他特別収入 ５００円</p> <p>を登録します。</p> <p>（３）商品券５００円で本を購入した場合</p> <p>振替帳入力で、</p> <p>左方 新聞図書費 / 右方 商品券 ５００円</p>
Q	<p>クレジットカードなどで購入した場合、カード会社のポイントが付く場合があります。この場合の処理はどのようにしたらよいのでしょうか。</p>
A	<p>「初期設定」画面の「カードポイント」項目の「カード会社名」欄に当該クレジットカードのポイントサービス名称を登録します。</p>

	<p>カードポイントが１００ポイント（１００円相当）付与された場合</p> <p>入力処理の「カードポイント」画面から、 日付「ポイント付与日」、入出金「入金」、内容「ポイント付与」、 相手科目「特別収入－カードポイント収入」、金額「１００円」を入力し、「登録」ボタンをクリックします。</p> <p>※クレジットカードのポイントには、１ポイント＝１円相当の他に、１ポイント＝１０円相当等のカードもあります。登録の際には現金換算した金額を入力することをお勧めします。</p>
Q	<p>クレジットカードを利用した際、銀行決済時に「割り戻し（割引）」されて引き落としされることがあります。このときの処理はどうしたらいいのでしょうか。</p>
A	<p>クレジットカードを利用して５，５００円のブラウスを購入し、決済時に１０％の割り戻し（５５０円の割引）があった場合の処理方法</p> <p>○購入時の入力処理</p> <p>入力処理の「クレジットカード」から、 日付「ブラウス購入日」、内容「ブラウス」、相手科目「その他生活費－衣料費」、金額「５５００円」を入力し、「登録」ボタンをクリックします。</p> <p>○決済時の入力処理</p> <p>１．入力処理の「普通預金」から、 日付「引き落とし日」、入出金「出金」、内容「ブラウス」、相手科目「カード未払金／当該カード会社」、金額「４９５０円」を入力し、「登録」ボタンをクリックします。</p> <p>２．入力処理の「振替帳」から、 日付「引き落とし日」、内容「カード割り戻し」、金額「５５０円」、左方「カード未払金」、右方「特別収入－その他特別収入」を選択し、「登録」ボタンをクリックします。</p> <p>※決済時に１０％の割り戻し（５５０円相当）があることが購入時にわかっている場合、入力処理の手間を省くため、購入時に割</p>

	<p>り戻し相当額を差し引いた金額（４９５０円）を購入金額として入力する方法も考えられます。しかし、この入力処理を行った場合、スカートの値段は４９５０円と記録され、また５５０円の割り戻し（特別収入）が発生した事実を記録することができません。</p>
Q	<p>定期預金（預入元金５００,０００円、受取利息１,０００円）を解約し、普通預金に入金された場合の処理はどのようにするのでしょうか。</p>
A	<p>定期預金を解約した場合、定期預金の元金部分と利息部分の合計金額が普通預金に振り込まれます。そこで、定期預金の元金部分と受取利息（特別収入）部分の２つの入力処理が必要です。</p> <p>１．入力処理の「普通預金」画面で定期預金の解約金が振り込まれる口座を選択し、入出金「入金」、内容「定期預金元金」、相手科目「定期性預金」、金額「５００,０００円」を入力し「登録」ボタンをクリック</p> <p>２、同じく入力処理の「普通預金」画面で定期預金の解約金が振り込まれる口座を選択し、入出金「入金」、内容「定期預金利息」、相手科目「特別収入－受取利息・受取配当金」、金額「１,０００円」を入力し「登録」ボタンをクリック</p> <p>※定期預金の解約金を現金で受け取った場合は、入力処理の「現金」画面から、上記同様２つの入力処理を行います。</p>
Q	<p>オークション、フリーマーケット、リサイクルショップ、古本屋等への売却による収入の計上方法はどのようにすればよいのでしょうか。</p>
A	<p>売却代金を現金で受け取った例で説明します。</p> <p>入力処理の「現金」画面から、日付「売却日」、内容「売却品目名やオークション名」、相手科目「特別収入－その他特別収入」、金額「売却金額」を入力し、「登録」ボタンをクリックします。</p> <p>なお、当該売却品が「初期設定」の「車両」「高額品」に計上している物品の場合は、入力処理の方法が異なります。</p> <p>上記に計上している資産は、「初期設定」の段階で「残高」が設定</p>

	<p>されています。この「残高」とは、当該資産を売却した際に受け取る時価評価額（下取り価格の概算）です。このため、2つの入力処理が必要になります。</p> <p>「高額品」に残高30,000円で計上していた「ブランドバッグ」をリサイクルショップで売却し、売却代金35,000円を現金で受け取った場合を例に説明します。</p> <p>1. 入力処理の「現金」画面から、日付「売却日」、入出金「入金」、内容「リサイクルショップ売却」、相手科目「高額品ーブランドバッグ」、金額「30,000」を入力し、「登録」ボタンをクリックします。</p> <p>2. 同じく入力処理の「現金」画面から、日付「売却日」、入出金「入金」、内容「ブランドバッグ売却」、相手科目「特別収入ーその他特別収入」、金額「5,000」を入力し、「登録」ボタンをクリックします。</p> <p>※売却代金を銀行振り込みで受け取った場合は「普通預金」入力画面、カードポイントで受け取った場合は「カードポイント」入力画面から、同様の処理を行います。</p>
	<p style="text-align: center;">「出力」と「分析」について</p>
Q	<p>食糧費の内容の分析、たとえば、野菜とか果物に費目別に分けるとか、スーパー、コンビニとかショッピングセンターとかに、購入場所別に分類することはできますか。</p>
A	<p>できます。ただし、入力処理を行う際の「内容」に、費目名（野菜、果物など）や購入場所（スーパー、コンビニなど）を記録しておく必要があります。</p> <p>また、「分析」の「科目月別残高」をクリックして開き、左カラムの「科目選択」から「食糧費」をクリックすると「月別残高」が表示されます。</p> <p>分析したい月を選び「明細」をクリックすると、当該月・当該科目の元帳（明細）が開きます。この「元帳」で「CSV への書き出し」をクリックすると、CSV 形式でデータを保存することができ</p>

	<p>ます。</p> <p>PCに保存したCSVデータをエクセルなどの表計算ソフトに取り込み、自分達の目的に合わせて並べ替えたり、部分集計を行ったりして、分析することができます。</p> <p>内容を分析する目的は個人個人で異なりますので、CSVに書き出されたデータを自分達の目的に合った方法で加工・分析されると良いと思います。</p>
Q	<p>「予算実績対照表」の「財産対照表」で毎月の予算を入力しましたが、「留保財産」の予算金額が自動計算されません。</p>
A	<p>予算実績対照表の財産対照表の予算の留保財産の数字は、集計計算されないように作られています。</p> <p>それは、予算の場合、財産対照表と消費損益計算書の当期消費損益の金額が一致しなくなるためです。</p> <p>予算では、消費損益計算書の当期消費損益のほうが必要とされるからです。</p>
Q	<p>食糧費、交通費など月別にその推移を知りたいのですが、その方法がありますか。</p>
A	<p>分析の「消費損益月次推移表」をクリックすると、「収入」「消費」「特別収入」「特別消費」の全科目の月別推移が表示されます。</p> <p>「消費損益月次推移表」のデータは、左上のフロッピーディスクボタンをクリックするとエクセル形式またはPDF形式で保存することができます。</p> <p>エクセル上で加工することで、目的に合わせた分析が可能になります。</p>
Q	<p>「家庭決算書（消費損益計算書と財産対照表）」は、1カ月間の入力が終わってから見るものでしょうか。</p>
A	<p>特に決められていません。消費損益計算書と財産対照表は、入力処理画面でデータが登録されるごとに自動計算されて、常に最新の入力データに更新されますので、いつでもチェックすることができます。</p>
Q	<p>食糧費などの入力データを品目ごとに並べ替えるなどして分析したいのですが、方法がありますか。</p>
A	<p>はい、あります。「科目月別残高」で食糧費を選択し、「元帳」が</p>

	<p>タンをクリックすると、月毎の日別明細一覧が表示されます。右肩にある「CSV ファイルに書き出す」ボタンをクリックすると、CSV ファイルとしてデータ保存ができます。エクセルなど表計算ソフトの機能を利用して、入力データの加工・分析が可能となります。</p>
	<p>その他</p>
Q	<p>このパソコンを新規に購入しましたが、シリアルナンバーを忘れてしまいました。再発行は、出来るのでしょうか。</p>
A	<p>代金のお支払い及びライセンスキーの管理は、すべてベクター社にお願いしてあります。</p> <p>したがって、この件については、直接ベクター社のほうへお問い合わせをしていただきたいと思います。</p> <p>(参考)</p> <p>ベクター社の再発行のサービスは、つぎのようになっております。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ベクター社のホームページのトップを開く (2) ご利用案内の利用者の方へをクリック (3) PC ショップをクリック (4) Q&A お問い合わせをクリックし (5) ライセンスキー到着後 (ライセンスキーが正しく認識されない) をクリック <p>してください。</p> <p>また、URL は、次のようになっています。</p> <p>http://shop.vector.co.jp/service/man/faq.html#Q022</p>

【連絡先】

家計会計協会

WEB : <http://www.kateikeiei.com>

電話 : 03-3422-1218